

# 大阪消防

もう一度見たい!

## 特集 防火ポスターギャラリー

119番が見えるってどういうこと? / 救急病院・救急外来について  
教えて!! 「初動消防活動支援システム」って? / 調査鑑識 / We are Rookies!  
突撃取材! ウチはこんな訓練やってます! / CATCH UP WITH AND OVERTAKE  
消防出張所ビフォーアフター / ザ安全管理 / 功績表彰 / The Black History  
誰でもわかる通知の解説 / 九条みなみの昇任試験問題研究所

災害概況 / コマンドアイ

大阪の消防 NEWS / アニマル環状線

自衛消防隊紹介 / 女性防火クラブだより

救急安心センターおおさかだより

健康ダイアリー / FROM FIRE STATION

令和3年

11

No.860

月号



食べて遊んで癒されて、  
極楽の殿堂ここにあり！

12F Bee RUSH 難波

11F～5F サウナ&カプセルアムザ  
至高の快眠設備！本格派サウナ

展望露天風呂、美泡『萬の湯』

4F スシロー（西日本最大236席）

3F カラオケ BIGECHO・赤から

・さんばち屋・チキチキチキン

2F サイゼリア・カ丸・びっくりドンキー

1F 炭焼笑店陽・水炊きからあげ鳥吾郎

大東洋 なんば店 B1 CLUB-D

なんば千日前の  
『アムザ 1000』

笑って  
見送れ  
最終電車！



〒542-0074 大阪市中央区千日前 2-9-17

団体割引適用で割安！

※③を除きます



～消防人生をずっと補償～

いざという時のために！

一般財団法人全国消防協会 職員福利厚生事業

# 消防職員・消防退職者のための 保険

**① 消防職員傷害保険**  
団体割引適用 **30%**  
傷害総合保険

募集時期 ■ 7月～8月 2月～3月 2月～4月（新採用プラン）

**② 消防職員医療保険**  
団体割引適用 **30%**  
医療保険基本特約・疾病保険特約・  
傷害保険特約セット団体総合保険

**③ 消防職員賠償責任保険**  
年間保険料 **4,000円**  
救命救急士の  
専門業務も補償！  
公務員賠償責任保険（消防職員危険担保  
特約条項、初期対応費用担保特約条項、迷惑行  
為被害対応費用担保特約条項等付帯）

募集時期 ■ 1月～2月 7月～8月

**④ 消防職員がん保険**  
団体総合生活保険（がん補償）  
募集時期 ■ 1月～2月  
団体割引 **20%**

**⑤ 消防職員介護保険**  
団体総合生活保険（介護補償）  
募集時期 ■ 1月～2月  
団体割引 **20%**

**⑥ 消防退職者医療保険**  
団体総合生活保険（医療補償）  
募集時期 ■ 1月～2月  
団体割引・償還率による割引適用  
約 **40%**

こちらは概要のご案内です。各保険の詳細については、パンフレットをご参照ください。取扱商品、各保険の名称や補償内容等は引受保険会社によって異なりますので、ご加入にあたっては、必ず「重要事項等説明書」をよくご確認ください。詳細は約款によりますが、保険の内容等についてご不明な点等がある場合には、取扱代理店までお問い合わせください。

全国の消防職員・ご家族の皆様とともに



**全国消防保険サービス株式会社**

一般財団法人 全国消防協会  
損害保険取扱代理店



〒102-8119 東京都千代田区麹町1-6-2 アーバンネット麹町ビル 5階 TEL.03-3234-1331（代）

引受保険会社 ・ 損害保険ジャパン株式会社 ・ 東京海上日動火災保険株式会社

SJ20-10632（2020/12/02）  
20-TC06233（2020年11月作成）



# CONTENTS

# 大阪消防 11

表紙：中高層建物火災警防訓練

01：コンテンツ／災害概況	26：大阪の消防NEWS
02：特集 防火ポスターギャラリー	28：消防出張所ビフォーアフター
11：119番が見えるってどういうこと？	29：職員の殉職について
12：【職務】教えて!! 「初動消防活動支援システム」って？	30：救急安心センターおおさかだより／ アニマル環状線
15：突撃取材！ウチはこんな訓練やってます！	31：九条みなみの昇任試験問題研究所
17：【職務】救急病院・救急外来について	32：自衛消防隊紹介／女性防火クラブだより
18：CATCH UP WITH AND OVERTAKE	33：功績表彰
19：ザ安全管理	37：誰でもわかる通知の解説
20：コマンドアイ	38：The Black History
22：調査鑑識	39：健康ダイアリー
25：We are Rookies！	40：FROM FIRE STATION

## 大阪市の災害概況

### ◎火災概況

	建物火災				小計	車両	船舶	爆発	その他	合計
	全焼	半焼	部分焼	ぼや						
9月中件数	0	0	5	21	26	4	0	0	12	42
令和3年 9月末累計	11	13	90	236	350	33	2	0	70	455
令和2年 9月末累計	18	16	97	257	388	31	1	0	96	516
累計比較	▲7	▲3	▲7	▲21	▲38	2	1	0	▲26	▲61

### ◎救急概況

	救急出場
9月中件数 (概数)	17,881
令和3年 9月末累計	161,191
令和2年 9月末累計	163,433
累計比較	▲2,242

### ◎火災・救急以外の消防活動概況

	救助活動	危害排除	水防活動	その他の 消防活動
令和3年 9月末累計	2,816	995	25	911
令和2年 9月末累計	2,644	883	0	910
累計比較	172	112	25	1





# 特集 もう一度見たい! 防火ポスターギャラリー

時代の流れとともに、大阪市の街を見守ってきた防火ポスター。  
 今も昔も変わらぬ「火の用心」への思いを伝えてきました。  
 昭和から令和まで、歴代の防火ポスターをその時代とともに振り返ります。





# 令和3年度大阪市防火ポスター紹介

令和3年度大阪市防火ポスターは、防火意識を高め、防火標語を多くの方に伝えることを目的とし、過去最多、全158デザインの中から職員により選ばれました。

全年齢層に分かりやすく、親しみやすく、好感が持て、独創性に富んでおり、多くの市民の目に留まるデザインをコンセプトとして作成されました。



作者:井上 真翔さん

## 学校からのコメント

OCA大阪デザイン&ITテクノロジー専門学校は「職業人教育を通じて社会に貢献する」ことをミッションに掲げ、開校以来「業界とともに業界に必要とされる人材を育成」する産学共同教育を実践しております。



産学共同教育の核となるのがプロジェクトです。仕事現場と同様のプロセスを経て学生たちが制作に取り組み本校の教育プログラムであり、即戦力を身に付ける最良の実践の場となっております。

この度はこのような機会を与えていただき誠にありがとうございます。

## 作者による作品説明

大阪市は大阪城や通天閣などの全国的にも知名度が高い観光名所が多く存在します。

また、大阪では「大阪のおばちゃん」という文化が普及しており、これを象徴するヒョウ柄や濃いメイクを作品に採用し大阪らしさを表現しました。

また、見手に「これは、防火を促す作品なんだ」と直ぐに察知してもらうために、江戸時代の消防組織「火消し」を描こうと考えました。

更に、この江戸時代の古き良き文化と上記に述べた現在の「大阪らしさ」を融合させることによって、よりインパクトを与えられるのではないかと思います、浮世絵風のタッチにしました。

## 作者の作品に込めた防火への思い

火災は防げる災害です。

一人一人が意識をし、協力し合うことによって"防"げる"火"が必ずあると僕は思っています。

この作品が誰かの防火についての意識を変えるターニングポイントになったり、火災の恐ろしさ、人との繋がりの大切さを改めて知る機会になることを願っています。



# 防火ポスターが歩んできた時代

## 昭和

昭和23年3月7日消防組織法の施行により大阪市消防局が発足しました。

昭和30年代は経済が高度成長した時代です。災害面では火災が多く発生していた時代であり、昭和36年には最多件数である年間2,819件の火災が発生しました。

高度経済成長後期である昭和40年代には千日デパート火災や、天六ガス爆発火災なども発生しました。この時代から、起こった災害に対応する警防業務中心の消防だけでなく、火災を未然に防ぐ予防業務にも国民の消防に対する期待が強くなりました。大阪市においても火災発生前の「予防」と火災発生後の「警防」の両面から市民を守るように予防部を新設しました。



昭和



平成

## 平成

平成の時代に入り、経済はバブル崩壊し、「失われた20年」と呼ばれる低成長期に突入しました。消防としては、平成3年に救急救命士制度が誕生しました。平成7年には阪神淡路大震災が発生し、死者6,434名という未曾有の大災害が発生しました。この大災害に対応するための大きな動きが緊急消防援助隊であり、大規模災害時における人命救助活動等を効果的かつ迅速に実施できるよう平成7年6月に創設されました。その後、平成23年の東日本大震災をはじめ、全国各地へ緊急消防援助隊を派遣しています。

市内の災害に関しては、平成20年に発生した浪速区個室ビデオ店火災で、多くの尊い人命が失われ、この火災を受け、再発防止対策として予防部に特別査察隊を設置し、是正指導の推進体制の整備を行うとともに、災害面の対応としては救助活動体制強化を図りました。



令和





昭和20年～



S24

初代  
ポスター



S25



S26



S28

防火ポスターは、ここから始まりました。当時の日常が描かれたレトロな雰囲気デザインのポスターモデルの職員の見つめる先、火の用心への思い、市民の安全を見守る気持ちは防火ポスターの中に今も継承されています。

昭和30年～



S30

描かれた不動明王は、表情は大変険しいですが、人々を災いや迷いから救ってくれ、背中に背負った火炎で災いを清めてくれるようです。



S31



S32

高度経済成長期の初め。今も受け継がれる出初式の風景。

昭和40年～



S41



S42



S43



S47

高度経済成長期はピークに。炊飯器、洗濯機、冷蔵庫などの家電製品が普及し、女性は家事の重労働から解放され、社会進出が目覚ましかった頃の作品です。

昭和50年～



S50



S51



S52



S53



S55

植物や動物をモチーフにした、写実的で色彩豊かな作品が多く並びます。





S56



S57



S58



S59



S60

## イラストレーター 佐藤 邦雄

1940年大阪生まれ。1964年今竹造形美術研究室でグラフィックデザイナーとして仕事をはじめ。1976年イラストレーター集団(株)スプーン設立。この頃より動物を擬人化したイラストレーションを描きはじめる。1984年サントリー奨励賞受賞。全国での大規模な展覧会や広告・雑誌表紙・NHKのテレビ番組おかあさんといっしょ「ドレミファ・ドーなっつ!」のキャラクターデザイン・オリジナル商品「KUNIOCOLLECTION」など幅広く活躍。

www.kunio.biz  
Kunio Gallery  
〒530-0043 大阪市北区天満3-1-16 Tel:06-6354-9292 Fax:06-6354-9207

## ゴリラポスターのデビュー(大阪市消防50年のあゆみ『瀬尾 理氏の手記』より)

『あれは昭和55年の初夏だった。秋の火災予防運動用のポスターを企画する段になって、ほくは時の予防課長に思いきって進言してみた。イラストレーターの起用によるポップアートのポスターづくりである。(中略)

結局ほくの提案は、2年間の検討研究期間を置いて実現する運びとなる。イラストレーターは動物擬人化の第一人者・佐藤邦雄氏。モチーフは「ゴリラの救助隊員」と決定した。細密描写で知られる佐藤さんだから、モデルの人も重要だった。ナイーブかつ温厚ながらパワフルなキャラクター。これには当時北救助隊員で柔道の猛者・田中豊くに白羽の矢を立てた。田中くん、面食らったらしいが快く承諾、汗まみれの撮影に応じてくれたものだった。

完成! 驚くほどの反響。専門紙誌のみならず一般誌も競って掲載してくれたが、市民の好評を得たのが、我々スタッフには最大の喜びだった。このシリーズが5年も続いた所以である』



## スペシャルインタビュー

イラストレーター

佐藤 邦雄さん

西成消防署

田中 豊さん

昭和56年から5年間に渡り、

防火ポスターのデザインを描いていただいたイラストレーターの佐藤邦雄さん。

今回、佐藤さんと、当時モデルとなった西成消防署の田中豊さん、約40年ぶりに再会したお二人のスペシャルインタビューが実現しました。



防火ポスターのデザインを依頼された時、いかがでしたか？

佐藤さん：あのポスターのアートディレクターは消防局の瀬尾理さん。瀬尾さんは小さなゴリラのような雰囲気の方でした。明るくすごく豪快そうに見えて、目の奥に繊細さとやさしさを感じる人でした。年末の防火ポスターを創りたいということで瀬尾さんが来られました。

作品にどのような防火の思いを込められましたか？

佐藤さん：今思うと時代なのかなあ。あの頃は年末になると火災が多いということもあると思いますが、新年をすこやかに迎えたいという気持ち、新しい年という気持ちが今より強かったように思います。

町内では自治会ということで、夜、「火のようーじん」とチョンチョンと拍子木の音が寒さの中響いている年末でした。

そんな季節の中、あのポスターを見て、「あっ、何だろう？」と、ちょっとでも防災のことを考えてもらえたらと始まった、そんなポスターでした。

ポスターはマンションや映画館、ビルの入口など、街のいたるところに貼られていました。

テレビを観ている、吉本新喜劇がはじまり、その舞台にも貼られていて、あれは大阪のあの時の一場面になっていたのかなあと思っています。

佐藤さんの作品といえば動物を擬人化したイラストでおなじみですが、佐藤さんにとってゴリラとは？

佐藤さん：ゴリラというのは、あんな風貌ですが、本当は他の動物を殺して食べているわけではなく、他の動物を殺さずに植物・草を食べて生きており、お父さんは家族を想い、小さな子どもの面倒を見ていたりします。専守防衛ではないですが、守らなければならない時のみ攻撃する本当に理想の動物です。人間はもっと学ばなければならない動物です。



モデルである田中さんにお会いした時、いかがでしたか？

佐藤さん：ゴリラが主役ということで、僕は大賛成で仕事を引き受けました。1作目は挨拶という感じで親しんでもらおうという打ち合わせで、作品に登場するゴリラさんの服装はリアルにしたいので、撮影をして絵にしたと瀬尾さんにお願ひしました。瀬尾さんが「ゴリラみたいな職員がいるので連れてくる」ということで、田中さんが来られました。田中さんはお会いした時、若く、確かに身体はいい体格をしておられました。顔はすごく優しくそうな人で、いい旦那さんになれる人だなあと思いました。

ゴリラのモデルと思って来られたのでしょうか？

田中さん：いいえ、出来上がりを見て、びっくりしたことを覚えています(笑)

撮影の時のことを覚えておられますか？

田中さん：毎日記をつけているので、今でもよく覚えています。当時は北消防署で勤務していて、防火ポスターのモデルになるという

ことで、佐藤さんのスタジオに向かいました。リアルな写真が必要ということで、当時の救助隊服装に10号型の空気呼吸器を背負って撮影しました。1作目の足を上げている作品は、バケツの上に足を置き敬礼して撮影したものです。100枚もの写真を撮影しました。

ご家族や周りの反響はいかがでしたか？

田中さん：私の結婚披露宴の時同僚が、「実は新郎は大阪市消防局のポスターのモデルになりました!」と紹介してくれ、出席者から、「すごい!」という声が上がりました。その振りの後、画面いっぱいゴリラのポスターが映し出されると、会場が大爆笑の渦に包まれました(笑) このポスターのおかげで、思い出深い披露宴になりました。それから、昭和56年11月30日の産経新聞にポスターの話が記事になりました。今でも切り抜きを大切に保管しています。

この5作品は、佐藤さんにとってどのような作品になりましたか？

佐藤さん：とにかくこの仕事は楽しかったです。僕のオリジナルの絵に近いもので、それが仕事でみなさんの目につくポスターになるのでワクワクしながら描いていました。2作目、3作目と後になるほど作品として良くなっていると思います。

最後の作品は僕の自慢の作品です。とてもいい仕事でした。

田中さん：大阪消防の防火ポスターの歴史の中で、この5作品は今もよく話題にのぼるのです。これからも防火ポスターがたくさんの人々に火の用心の思いを伝え続けてくれることを願っています。





昭和60年～

昭和62年ポスターのモデルとなった水上消防署 田中時治副署長のコメント



S62

火災ゼロ みんなの熱意と心かけ

「すぐに制服姿で、写真撮影に応じてくれ」と、出勤するなり上司に言われ、急いで撮影現場へ行くと、何がどうなっているのかわからない状態であったが、本来、撮影モデルの先輩がその日出張となり、撮影に立ち会えないので、私にそれがまわってきたことがわかった。

撮影は数時間で終わり、後日、防火ポスターが完成し市内全域に貼られていくことに戸惑いを覚えた私は、しばらく、外出を控えた。

その年の年末、その上司が、「火災予防のポスターがはぎとられて困っています。」と周りの人たちにお話しされているのを耳にした私は、「私のポスターが、ですか。」とお尋ねしたところ、「なくなるのは少年隊のポスター。君のポスターは在庫の山。」と言われ、(この年の全国の防火ポスターのモデルは少年隊)大変なことをお聞きしたものと、反省をした。

その思い出のポスターは、今も、我が家の箆笥の中に眠っている。還暦を迎えた今、それを開いて触れてみようと思う。私にしか、味わうことができない、その当時の思いや思い出に。



S61



S63

子どもたちに大人気の消防子ども服が導入されたのがこの頃でした。



平成元年～



H1



H2



H7



H8

平成の始まりは絵本作家の永田 萌さんにデザインを依頼しました。親しみやすく、優しい雰囲気デザインが印象的です。また、年代の後半には当時のプロ野球選手等のスポーツ選手がモデルの作品も見られます。

平成10年～



H10



H11



H17



H19

イラストで視覚的に分かりやすく、幅広い年齢層に「火の用心」が伝わるデザインとなっています。

平成20年～



H20



H21



H22



H23



H25



H26



H28

ミライからやって来た大阪市消防局のオリジナルヒーロー「セイバーミライ」が平成24年に登場。ポスターの中でも大活躍しています。

令和元年～



R2



R3

令和へと時代が移り変わり、ポスターの防火標語に「命」という言葉が。これには新型コロナウイルスによる世相が反映され、防火だけに留まらない命への大切な思いが込められているようにも感じます。

おわりに

こうして歴代の防火ポスターを振り返ると、その時々時代の背景や世相がよく表されており、改めてその歴史と伝統を感じます。

今後も多くの市民の方々に愛され、防火意識を持ってもらえる防火ポスターを未来へと繋げていきます。

歴代防火ポスターギャラリー動画はこちらから!





# 119番が見えるってどういうこと？

## ～新たなシステムへの挑戦「ライブ映像119」～

### はじめに

大阪市消防局では、令和3年10月1日より「ライブ映像119」を始めました。

「ライブ映像119」とは、119番通報の際に通報者のスマートフォンを使って災害現場の状況を動画で伝えていただくシステムです。

また、応急手当が必要な場合は、指令情報センターから「応急手当の方法について」の動画を通報者のスマートフォンに送信することによって、通報者は動画を見ながら応急手当をすることが出来るという仕組みです。スマートフォンの事前設定やアプリのインストールは必要ありません。有事の際に指令管制員はショートメッセージの送信、通報者側は受信したショートメッセージに添付されているURLをタップするだけで、通報者と指令情報センターがつながります。119番通報という緊急通報で迅速な対応が求められる中、通報者と指令管制官の双方とも非常に簡単な操作で利用できるように構築されています。

### 「ライブ映像119」 ～利用イメージ～

119番 火事ですか緊急ですか？

救急車は出動しています。救急隊と交代するまで心臓マッサージを行います。

救急です。大塚町の××ビルで人が倒れています。息を止めています。

心臓マッサージが効果的に行えているか確認をしたいので、映像通信に協力いただけますか？

わかりました。このまま続けます。

スピーカーボランを押して、送受信音声をスピーカーから再生します。

わかりました。このまま続けます。

119 01:10

映像伝送システム  
大阪市消防局

事前に確認  
注意事項を確認する

映像にあたっての注意事項を記載した画面が表示されます。承諾すると先へ進むことができます。

STEP 03  
マイク・カメラ・位置情報の使用  
デバイスの使用を許可する

映像通信ではスマホのマイクやカメラ、位置情報を使用します。確認画面では「許可する」を押してください。

STEP 04  
電話のボリュームを確認  
電話の音量を調整

電話の音量を調整し、指令管制官の音声の問題なく聞こえたら「次へ」を押して先へ進みます。

「REC」ボタンを押して撮影開始

### 「ライブ映像119」 ～SMSが届いた後の流れ～

STEP 01  
映像通信を起動  
URLへアクセスして起動する

届いたメッセージをひらいて、本文のURLへアクセスしてください。ブラウザで映像通信が起動します。

STEP 02  
事前に確認  
注意事項を確認する

映像にあたっての注意事項を記載した画面が表示されます。承諾すると先へ進むことができます。

STEP 03  
マイク・カメラ・位置情報の使用  
デバイスの使用を許可する

映像通信ではスマホのマイクやカメラ、位置情報を使用します。確認画面では「許可する」を押してください。

STEP 04  
電話のボリュームを確認  
電話の音量を調整

電話の音量を調整し、指令管制官の音声の問題なく聞こえたら「次へ」を押して先へ進みます。

「REC」ボタンを押して撮影開始

### 全国的な映像通報システムの流れ

令和3年8月現在、導入に向けた検証や実際に運用している消防本部や指令センターは33カ所（当局調査）あり、導入から2年程度しか経過していない新しいシステムです。使用状況としては、主に応急手当の口頭指導や交通事故現場での状況確認、ドクターカー要請時などで活用されており、警察庁でも全国の警察で導入するという報道発表がされていることから今後さらに拡大していくことが推測されます。

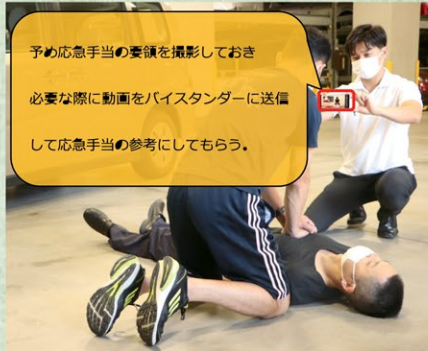


## 導入による効果と期待

### 災害現場対応の早期着手

通報者から送信された災害現場の映像を、出動中の消防隊や救急隊がスマートフォンで確認できるため、到着前に現場状況を把握することができ、活動方針等の早期決定につながる事が期待されます。

### 応急手当動画活用の様子



### バイスタンダーによる確実な応急手当の実施

指令情報センターから事前に用意した応急手当の方法等の動画や静止画を通報者に送信することで、通報者は映像を確認しながら、より正確な応急手当を施すことが可能になり、救命率の向上につながる事が期待されます。

### 指令時間の短縮

インターネット接続となるので Google のストリートビューや地図と照らし合わせることで、災害発生場所の早期特定につながる事が期待されます。

## 課題

災害現場という危険な状況下での撮影行為から、第三者に心無い野次馬と誤解され通報者がトラブルに巻き込まれる恐れがあるなど、協力者のリスクが考えられます。そのため、運用面において、協力者の携帯電話の画面上に当局からの依頼に基づく撮影であることがわかるテロップを表示させる等、配慮に努めています。

また、撮影時に発生する通信料は協力者に負担がかかってしまう点や、通報者の安全を確保しながら撮影協力を依頼するため、指令管制員は最大限に配慮して対応することが必要な点など、今後これらの課題克服や効果的活用に向けて検証、検討を進めて参ります。

## 最後に

近年、一般人により撮影された被害映像を報道ニュースなどで目にする機会が増えたことからわかるように、映像が与える効果や情報発信、情報収集力が注目されています。

特に、多発する自然災害においては SNS (Social Networking Service) を活用しての情報収集が求められてきています。

当局はこれからも新しい ICT (Information and Communication Technology 情報通信技術) を活用して、迅速かつ的確な災害活動による、被害の軽減に取り組んでまいります。

※このシステムについて興味がある方は、大阪市消防局のホームページ「もしもの時は (119 番通報)」の項目に「ライブ映像 119 (映像通報システム) について」というページがありますので是非ご覧ください。利用方法やシステムに関する Q&A など詳しく記載しています。





# 「初動消防活動支援システム」って？

## 教えて!!

### 登場人物



ドラゴン兄さん

消防署でのお兄さんの存在。消防のことはもちろん、各分野に精通した博識者。



火野 陽仁

独特な感性をもつ若手消防職員。何事にも全力投球を心がけるが、勉強が少し苦手。

※なぜドラゴンと呼ばれているかは追って紹介

### コンテンツ紹介

大阪市内のとある消防署で勤務する火野くんが、ドラゴン兄さんと慕われている先輩職員から様々な知見を吸収し、成長していく短編シナリオです。

火野くんドラゴン兄さんは、事務連絡のため消防局に来ています。

ドラ 「用事も済んだし引き揚げようか？」

火野 「はい。…!!」

ドラ 「どうした火野くん？」

火野 「今、揺れませんでした!」

ドラ 「いや、私は感じなかったよ。局の地震計も反応はしていないね。そういうえば、前回の震災訓練で、

火野くんは初動消防活動支援システム(以下、初動システムという。)について、何か知れたそう

にしていたね。」

火野 「はい。初動システムが震災対策消防計画の中で、火災への出場隊数の振り所になっていることは理解しているのですが、そもそも初動システムの実態がよく分かっていなくて…」

ドラ 「なるほど。だったら、初動システムの本体は局にあるので、せっかくだし実物を見ながら説明してあげよう(注)」

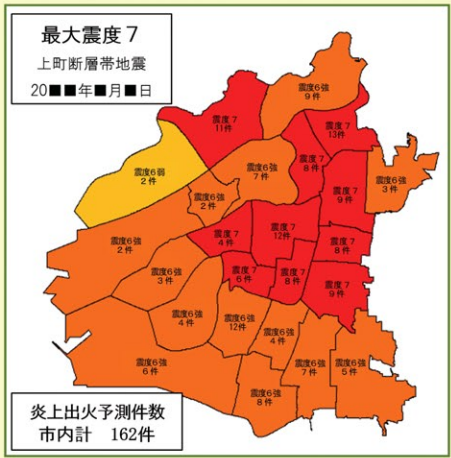
(注) ドラゴン兄さんは特別です。見学される際は、必ず警防課(計画)までお声掛けください。

火野 「はい、お願いします!」

ドラ 「火野くんは初動システムについて、どれくらい知っているのかな?」

火野 「地震発生直後に炎上出火予測件数が出ることくらいしか…」

ドラ 「OK。それでは、上町断層帯地震を例にとつて、デモ画面を見てみよう!」



火野 「へー、こういう形で表示されているんですね。炎上出火予測件数が162件ってことは、火災1件に対して消火隊1隊を出場させるってことですね。これは通常時の火災と同じように消火隊を6隊出場させていては、同時多発するであろう火災に対応できなくなってしまうからなんですよね」

炎上出火予測件数※1	出場隊数※2
61件以上	消火隊1隊
41 - 60件	消火隊2隊
21 - 40件	消火隊3隊
20件以下	消火隊4隊※3

※1 発災1時間後の予測件数

※2 ST・STR・MTT・C・Rを消火隊として出場させる

※3 ST・STR・MTTを優先出場させる

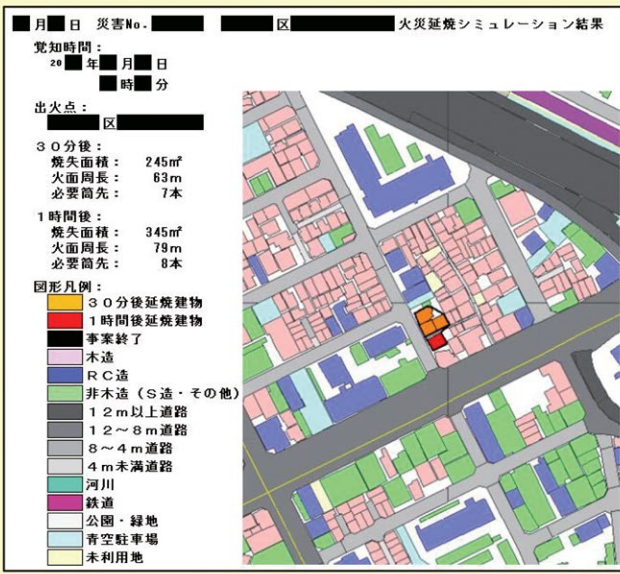
ドラ 「その通り。よく勉強しているね。炎上出火予測件数以外にも、建物全壊数や負傷者数等の予測も分かるんだ」

火野 「それは知りませんでした。ところで、それらは一体どのようして予測しているのですか?」

ドラ 「良い質問だね。初動システムには、地盤データや建物データ、人口データ等様々な情報が登録されていて、地震動情報から『大阪府自然災害総合防災対策検討委員会』と『大阪府防災会議南海トラフ巨大地震災害対策等検討部会』で検討された手法を基本にして、被害を予測しているんだよ」

火野 「シミュレーションって、カン、ケン、カ、タ、コ、ハ、僕らの頭から煙が…」





ドラ 「(笑)ちなみに、地震動情報については、大阪府が市内の各行政区に地震計を設置しているんだけど、その地震動情報を初動システムへ送信してもらおうよう、大阪府と大阪府と協定を結んでいるんだ」

火野 「へー、そうだったんですね」

ドラ 「初動システムには、もう一つ大きな機能が備わっているんだけど、想像つくかな?」

火野 「うーん、何だろう?」

ドラ 「延焼シミュレーション機能だよ。火災指令をかけた災害点に対して、自動で30分後と1時間後の燃え広がり方がシミュレーションされるんだ。で、その画面がこれだ」

ドラ 「このシミュレーション結果は、消防署でも確認することができるんだ。消防情報システムの消防掲示板に初動システムという欄があって、そこにアップされていくんだ。さっき見た炎上出火予測件数の画面もアップされるよ」

火野 「知らないことが沢山あります。このシミュレーション結果を見れば、延焼危険の大きい地域に消防部隊を集中させて、効率的な部隊の運用も可能になりますね。さらに、所轄大隊本部での管内災害の状況把握にも役立ちますし。これは、通常の火災でも見ることができているのですか?」

ドラ 「通常時では見ることができないよ。震度4以上の地震動情報を初動システムが取得した時に、起動するようになっていくからね」

火野 「初動システムって、高機能ですよ。最近のシステムなんですか?」

ドラ 「平成8年度から運用しているよ」

火野 「25年も前の話じゃないですか?ん、ちょっと待てよ、その前年って阪神・淡路大震災でしたよね」

ドラ 「その通り。さすが火野くん察しが良いね。私たちの先輩達が、阪神・淡路大震災の同時多発的な火災を経験して、被害を軽減するために考えられたのが、初動システムの開発。地震発生直後の『情報の空白期』において、初動消防活動を効率的に行う重要性がクローズアップされたんだ」

火野 「『情報の空白期』、いわゆる被害状況の把握ができるまでの間ですね」

ドラ 「甚大な被害であればあるほど、全体の被害状況を把握するのに相当の時間がかかり、そこから作戦を練って対応しては、後手に回ってしまう火災被害が拡大してしまうからね」

火野 「情報の空白期」を埋めることが、被害の軽減に繋がるってことですね」

ドラ 「その通り。ちなみに、今の初動システムは第3世代。10年毎に最新の知見を取り入れ、更新しているんだ」

火野 「このシステムを通して、被害を軽減させようとする諸先輩方の熱意が伝わってきます。今日は、初動システムの歴史にまで触れることができ、本当に勉強になりました。ドラゴンさん、ありがとうございました」

ドラ 「火野くんの知識が深まって良かったよ。将来は、予測だけではなく、予知もできるシステムが完成すれば良いんだけどね。予知ができれば、事前対策もしっかりとれて、被害をかなり軽減できると思うんだ」

火野 「わかりました。それでは僕が、この初動システムを担当することになったなら、大消の名に恥じぬよう、ナマズと繋げて予知まで出来るシステムを構築します!それが完成すれば、勝たんしか初動システム!!(※)」

ドラ 「その心意気は本当に素晴らしい!ただ相変わらず、火野くんは発想も個性的だねえ」

(※) 若者用語です。

【ドラ語録】

大地震 被害予測し 迎え撃つ

消防力が劣勢にならうと、訓練で培った揺るがない自信をもつて、自身を鼓舞し、大消一丸となって臨むのだ



# 突撃取材！

ウチ  
●●署は、こんな訓練やっています！

このコーナーは、各署所で実施しているさまざまな訓練の様子を広報担当が突撃取材！！「ウチの署は、訓練スペースに限りがあるから…」「ウチの行政区は河川が多いから…」など、署所で創意工夫した訓練の様子をお伝えします！

第8回は、旭消防署旭救助隊による「訓練棟をフル活用した訓練」です！



今回、訓練を紹介してくれるのはこの人！



消防司令補  
水野 理宇馬

旭区ってどんなところ？  
旭消防署ってどんなところ？

旭区は大阪市の北東に位置し、東は守口市と鶴見区、西は都島区、南は城東区、北は淀川を挟んで東淀川区と隣接しています。管内は、市内でも有数の大規模な商店街として有名な千林商店街があり、木造密集地域が多く昔ながらの街並みが残っています。出張所は2つで赤川出張所と新森出張所でどちらも1台配置です。

大阪市内の小さな消防署ですが、その分、署員の距離感が近く、常にコミュニケーションをとって災害現場、訓練、業務に日々邁進しています。

## 訓練棟



## 今回の訓練紹介について

私たちは、日々市民の方々の安心と安全を守るために訓練をしています。旭消防署は、大阪市の消防署の中でも数少ない6階建の訓練棟を保有しており、この立派な訓練棟をフル活用し、さまざまな想定訓練を実施しています。今回はその訓練の一部を1階から屋上まで各階別でご紹介させていただきます。



## 屋上 はしご車と連携した火災救助訓練 ⑥

高層建物火災を想定し、屋上に取り残された要救助者を救助隊と梯子隊で協力し救出する訓練



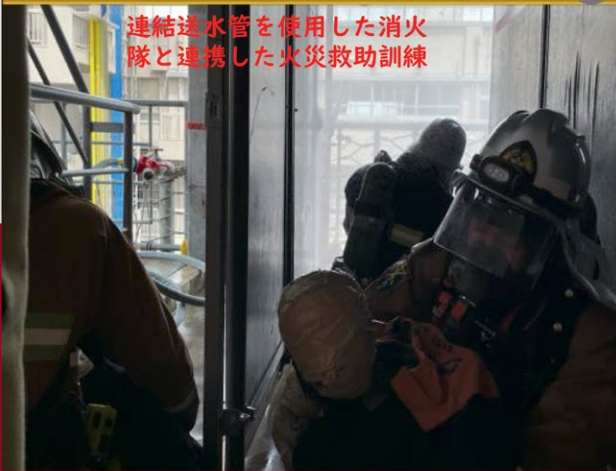
## 5階 上階からの進入訓練 ④

建物事故等で上階からしか進入できない場合を想定し、さまざまな方法で進入・救出する訓練。



## 3階 連結送水管を使用した火災訓練 ②

連結送水管を使用した消防隊と連携した火災救助訓練



## 6階 低所救助訓練 ⑤

低所に転落した要救助者をロープやはしご等を使用し、救出する訓練



## 4階 立て坑救助訓練 ③



地下想定狭小空間での要救助者を救出する訓練

## 1, 2階 木造建物火災想定訓練 ①

木造建物火災を想定し、消防隊の援護注水を受けながらの火災救助訓練



## おわりに

旭消防署の訓練紹介はいかがだったでしょうか？旭消防署のこの訓練棟を使用したいとか、この訓練やってみたいなどあれば気軽にご連絡ください。一緒に連携訓練をやりましょう。大阪消防のレベルを上げ、市民の皆様の安心・安全を全力で守っていきましょう。



## 救急病院・救急外来について

救急課

今回は救急安心センターおおさか(以下「安心センター」という)が担当で、救急病院・救急外来というものを人々がどう理解しているか、についてお話しさせていただきます。われわれ消防を含む医療関係機関は、救急車の適正利用・医療機関の適正受診という課題に



直面しており、これらの問題の原因の一つとして救急病院・救急外来がどういうところで、何ができて何ができないのかがあまり理解されていないという面があるのではないかと考えられるからです。そこで安心センターにおいて救急病院・救急外来をご案内する際によく訊かれる質問をQ&A形式でまとめました。利用者の方がどんな疑問を抱かれているのか、一つずつ確認していきましょう。



「救急病院って救急車じゃないと行けないんですよね？」

救急病院の多くは、救急車だけでなく自力で受診する人(いわゆるウォークイン)も受け入れています。安心センターでご案内するのは、自力で受診する人を受け入れるという情報を出している救急病院なので、ご案内したら交通手段を確保して、ご自身で向かってもらうことになります。



「診療科目の専門医のいる病院を案内してもらえませんか？」

安心センターでは「現在この科目の患者を受け入れます」という情報を出している病院をご案内しますが、これは「現在その科目の専門医がいます」ということではありません。救急外来は様々な科目の医師が日替わりで勤務することも多く、ある科目の患者を受け入れるからといってその科目の専門医がいるとは限らないです。



(夜間・休日に)「日中に近所の病院に行きましたが痛みの原因が分からなかったので精密検査をしてもらいたいのですが？」



救急外来は今の症状に対し応急的な処置を行う場所であり、精密な検査をして病名を突き止めるための場所ではありません。夜間・休日は検査をする技師がいなかったり機械を止めていたりするので、できる検査も限られています。精密な検査を受けたいのであれば日中の診療時間内に受診されることをお勧めします。また、どのような検査も、するかしないかは医師の判断によるため、特定の検査を受けたいと言っても必ず受けられるものではありません。



(病院を数件ご案内した時に)「もっと近くの病院ないですか？」

安心センターでは、病院のご案内は相談者の方がおられるところから直線距離で近い順におこなっていますが、受け入れ病院の少ない診療科目では必然的に距離は遠くなります。また眼科や皮膚科など、科目によっては、深夜の時間帯にご案内できる救急病院が、大阪府内で一件もないということもあります。一般の病院やクリニックが開いているような時間帯なら、大阪府救急医療情報センター※をご利用いただくのも一つの方法です。

※ 詳細は『大阪消防』令和3年9月号「救急安心センターおおさかだより」をご覧ください。





「□□病院は紹介状がないと受け入れてくれないのではないですか？」

日本では大病院志向が強く、自由にどこの病院でも受診できるとなると大きな病院に患者が集中してしまうため、大きな病院は紹介状のない患者を受け入れないようにしていることが多くあります。しかし、このような病院も救急外来としては紹介状なしの患者を受け入れてます。病院に電話をする際には、「救急外来で受診希望です」とお伝えください。



「確実に受け入れしてくれる病院を教えてくださいませんか？」

各救急病院は医療情報の端末で一日2回以上受け入れ可否状況を更新しており、安心センターはその情報をもとに病院をご案内しています。しかしながら救急事案が立て込んだり、病棟の患者が急変したりといったことがあると、急に受け入れができなくなることがあります。受診する際は、必ず受け入れ可能か確認の電話をしてから向かってください。



「明日行ける病院どこありませんか？」

救急病院は基本的に24時間患者を受け入れていますが、受け入れ可否状況は常に変動しており、数時間先のことは分かりません。安心センターでお伝えできるのは、あくまで現時点で受け入れることができるという情報を出している病院です。



「自分で行くより救急車でいったほうがはやく診てもらえますか？」

病院側では、患者の受け入れ時に緊急度を判断して診察順を決めるので、救急車で向かえば必ず最優先で診察してもらえとは限りません。待ち時間が発生したり、診察順が前後したりすることもあります。



「診断書を書いてくれる病院はないですか？」

救急外来では応急的な処置が主になるため、病名の確定や診断書の作成は、再度通常の診療時間内に来院した時に、となることが多いです。



「救急外来は診察料が高いのですか？」

これも紹介状と同じように軽症で大病院を受診する人、軽症で時間外に受診する人を減らすための仕組みですが、大病院は紹介状なしで受診したり、時間外に受診したりすると、選定療養費がかかり、診療時間内に一般外来を受診するよりも高くなることが多いです。

以上、安心センターで利用者の方に説明することの多い救急病院・救急外来の話です。全体的に多くの方が「大きな救急病院だったら夜間・休日でも平日の日中と同じように医療を提供してくれるだろう」という過度の期待を抱かれる傾向にあります。こうした救急病院・救急外来に対する誤った理解はコンビニ受診や不要な救急要請、医療トラブルといった様々な問題の原因となってしまいます。受診行動の適正化のためには、救急病院・救急外来に関する正しい理解の普及が欠かせません。皆さんも救命講習等で救急病院・救急外来について話される機会がありましたら、これらのQ&Aを参考に正しい理解を広めていただければと思います。

※ P30の「救急安心センターおおさかだより」で救急病院を定める基準について記載しています。そちらもあわせてご覧ください。



# CATCH UP WITH AND OVERTAKE

このコーナーは、消防の先輩から後輩へ伝承することをテーマに色々な先輩方からのインタビューを掲載していきます。

今回は此花消防署管理担当の上田司令のお話です。救助技術近畿地区指導会に、はしご登はん訓練、ほふく救出訓練で延べ10回出場し、そのうち4回全国救助技術大会に出場、ほふく救出訓練で1度全国1位を勝ち取るという輝かしい経歴の持ち主です。

今回は、キャリアの大半を救助隊で勤務されてきた上田司令と救助訓練で4年間ほふく救出訓練の相方をさせていただきました司令課消火活動分析の白井がインタビューを務めさせていただきます。



## 「消防人」形成の場

**白井** 近畿地区指導会、全国大会を多く経験されていますが、上田司令にとって救助訓練とは？

**上田** 実は消防士になりたいと思って当局に入っていないし、消防に入ってから救助隊員になりたいとも思ってなかった。救助訓練も自分とは別世界と思ってたけど、初めて強化訓練に参加した時に先輩達を見て、近畿地区指導会や全国大会に出場することは、それぞれそのレベルに見合う救助隊員でなければならないという「誇り」を背負っていることに気付いて憧れた。

消防という狭い世界の大会やし、現場に役に立つのか？という声もある救助訓練やけど、この「誇り」を背負うことが大きな成長に繋がる最大のメリットやと思う。救助訓練で近畿や全国を目指すなら、結果を出してこの「誇り」を身に付けないと意味がない。まして、仕事でやる以上、結果を出さないといけないと思う。

**白井** そうですね。消防人として「誇り」をもって職務に取り組むことが大切ですね。

## 「誰でも勝負できる」

**白井** 救助訓練では、はしご登はんとはほふく救出を経験されていますが、この種目の魅力は何ですか？

**上田** 身体能力の高い先輩達を見て、身体能力が低い自分でも勝負できる種目を選んできた。ロープを使うスキルは、みんな消防に入ってから身に付けたものなので、元オリンピックでもスタートラインは同じと思ってた。特にほふくは、技術で身体能力をカバーできるので、全国でも競技人口が多い。その中で全国1位は大きな自信に繋がるし、その可能性は誰にでもあると思って、それが魅力かな。

上田司令のほふく救出訓練の極意を動画で紹介!  
大阪市消防局公式  
YOUTUBE



## 「オリジナリティ」

**白井** はしご登はんでは通常は右巻きなのを左巻きで結索し、ほふく救出でもオリジナルの収容結索をされていたのが印象的でしたが、なぜオリジナルにこだわっていたんですか？

**上田** 自分は身体能力が低いと認識していたので、他人の真似をしても、オリジナルを抜くことはできないと思っていたし、真似をされるとすぐ抜かれると思っていたので、他人の人がやってくれて、自分にあったやり方を常に意識していた。結果的に自分を信じるための大きな武器になってたかな。

**白井** オリジナルを作るのはすごく大変なことだと思います。結索一つでもとことん追求されてたことを思い出します。オリジナリティって、技術を自分のものにするってことなんですね。

## 「家族・仲間・ライバル」

**白井** 近畿地区指導会、全国大会を経験して感じたことは何ですか？

**上田** やっぱ、一番感じたのは感謝やったね。チームメイトは当然やけど、家族や職場の仲間の協力や応援のおかげやっとなとすごく感じたね。

それに、力がついたのは間違いなく同じ時期からほふくに取組んだ南浦・中髪ペアや居波・森ペア、奥瀧・小林ペアなど、身近に本当に強いライバルがいたおかげやね。勝たないと全国に行けない。勝てば全国に行けるぐらいに感じてたから研究も努力もしたし、全国に行った時も同じレベルにあったライバル達の実力を示すためにも結果を出さないといけないと思って、本気で日本一を目指した。

はしご登はんをやった時も、山尾部長さんや納谷司令さんという強力なライバルのおかげで強くなれたのを思い出して、同時期に強いライバルがいるなんて運しかないから俺ってツイてるなあと感じた。



此花消防署 管理担当  
消防司令 上田 実人

## 【主な経歴】

昭和40年生まれ(56歳)

昭和59年拜命

キャリアの大半を救助隊及び特別救助隊として経験、阪神淡路大震災及び熊本地震に緊急消防援助隊として出動している。他に情報システム担当を経験。

## 【救助訓練の実績】

・はしご登はん：近畿3回、全国2回出場  
・ほふく救出：近畿7回、全国2回出場  
第28回(横浜)全国優勝

## 後輩たちへメッセージ 「訓練と現場は同じ」

本番1回で結果を求められるのは現場も同じ。

失敗してやり直すぐらいなら、ゆっくり丁寧に1回で成功するほうがいい。何回やっても、どんな環境でも、どんな精神状態でも失敗しないベースと正しい動作を身に付け、スピードを少しずつ上げて行き、勝てるスピードと精度にすることが極意。現場でも巻き結び1つ、カラビナ操作1つを工夫と努力でコマ何秒かずつ縮めることで、助けられない命が助けられるようになるって信じて、基本技術や体力の向上を目指すのが救助。

また、個人種目のはしご登はんからの転向で学んだことやけど、チームメイトを信じてることが重要。よく聞くセルフやけど、極限の時、チームメイトを信じることは本当に難しいことで、どうしてもチームメイトの心配が頭をよぎってしまう時があるが、それだけで自身のパフォーマンスは100%発揮できなくなるので、そんな時に他人の心配をさせる場合じゃない。日頃からお互いの限界やギリギリの時の精神状態を知り合うことで、失敗できない場面でも必ず成功してくれると信じてことができ、自分の能力や集中力の全てを自分の行動に注ぐことができるようになる。これが本当の意味での信頼やし、チームで活動する現場でも同じことと言える。基本訓練のたかが「競技」やけど、真剣に向き合えば必ず現場に生きてきます。そして、プロとして結果を出せるよう努力を継続してください。

YouTube 掲載の動画を一般公開に変更しました! 過去の動画も一覧でご覧いただけます。





# 安全確保の原則

- 一、安全を優先して活動すること
- 二、安全は、自ら確保すること
- 三、気力を充実すること
- 四、現場最高指揮者等は、隊員の掌握に努めること
- 五、現場装備は、完全に着装すること
- 六、警防機器の機能を知り正しく操作すること
- 七、現場規律を厳正に保持すること
- 八、単独行動を慎むこと
- 九、状況の急変化においても冷静さを失わず安全確認を確実に行うこと
- 十、過去の事故事例を教訓とすること

〔警防活動における安全対策基準〕



『安全管理』は、団塊世代の大量退職により消防活動経験の喪失が大きな課題となっている。現在、警防部所属の相当にベテランの先輩職員達が、自身の経験や体験を踏まえながら『安全確保の原則』を再確認しつつ、警防活動、警防訓練等の実施時における安全対策をあれこれと熱く語り合うことで、次世代を担う消防職員の方々の意識高揚を図るとともに、教訓とノウハウを伝承する対談形式の記事です。

## 今月のテーマ

# 「色」



先月号からつづく

.. さあ、今月も引続き「色」について話をしていきたいと思います！

先日、事務所で大炎指令の無線を聞いていたところ、高所カメラ情報「黒煙あり」との無線が流れていました。無線情報でも「煙気あり」と「黒煙あり」では現場情報のイメージに少し差がつか表現になっていて、これから現場に到着していく消防隊の準備で参考になる情報やなあ。煙も含め「色」での表現ってやっぱり重要やなって感じましたね。

.. そうやなあ。昔、共同住宅の火災現場で要救助者情報があつて、出火室の玄関前に到着した時に、施錠された玄関ドアの隙間から「黒い煙」が勢いよく噴き出してた場面では、消火隊が到着してない状況やったから、さすがに正面からの進入は危険と判断して、隣室のベランダからアタックした事を覚えてるわ。

.. そこで玄関ドアの隙間から「薄い煙」が出てくるくらいやったら水がなくても多少は進入できるかもって思うけど、「濃い煙」やと室内がけっこう燃えとるんやろうなって想像できるもんな。

.. 「色」での判断って、進入できる？でけね？の判断基準になつてるんやろうね。煙の「色」で言うと、燃えてたら最初は「薄い煙」、それがだんだん「灰色の煙」になつて、「黄色っぽい煙」に変わってきたらフラッシュオーバー発生の危険性が高まったら燃焼が拡大してるとも判断できるわ。

.. 火災現場で「黄色っぽい煙」が噴出してきたら、建物に進入している活動隊を一旦退出させて、外からの冷却放水で様子を伺う場面も今までの現場で何回かあったなあ。他にもウレタンや石油系に引火してたら、「真っ黒い煙」が噴出するの煙の特徴やなあ。赤外線カメラも煙や暗闇の中の活動で活躍してるよな。

.. 熱画像直視装置として、火災現場の煙中で要救助者や出火場所の検索だけでなく、区画の把握にも活用されていますね。特に最近では安全管理隊が、屋外から燃焼建物の軒先やモルタル壁内に残っている炎の確認等、人間の目だけでは確認できない部分で効果的に活用してくれています。

.. ひと昔前の赤外線カメラは大きい割に、画面の液晶が小さくて画像も荒かったけど、最近のものは小型化されて、液晶に温度表示もあるし、炎の状況に応じて液晶の「色」が変化したりもするから、格段に性能が上がつてるなあ。

.. しかし、目でしっかり見とかなあかんのが隊員や要救助者の顔色やね。7月号の「声」のトーンや8月号の「熱」の話と共通する部分もあるけど、熱中症になりかけている隊員は顔が「真っ赤に紅潮」して目も充血して「赤く」なったりするので、すぐに体調が悪くないか確認する必要があるね。

.. 昔の冬場の水難救助事案では、今のようドライスーツの配布がなかったの、エントリー隊員が救出活動のために5分ほど水中で活動しただけで、顔色が「真っ白」で唇も「紫色」になつて、ガタガタと震えてしまつてた事がありました。

.. 水中は空気中よりも25倍の速さで体温が奪われると言われているから、外気温が10℃を5度を下回る環境では、人間は通常の体温を保つことが難しくなつて、震えが激しくなつたり、思考能力や判断能力の低下も発生するんや。そんな状況での現場活動はかなり危険を伴うから、ドライスーツが各救助隊に配布されるようになって、ほんまに良かったわ。

.. 水難事案やと、感染防止の観点からもドライスーツや3点セットの装備は安全管理には不可欠な資器材やね。

.. たくさん話してきたけど、「色」は消防の活動や資器材と、かなり密接な関係性があるなあ。時代とともに新しい資器材の配布や更新で活動隊員の安全面は向上してるけど、その資器材の効果は最大限引き出せるように、勉強して繰り返し訓練して災害現場で活かさないとかあかん！って、来月は「技」について話しよか？



徳野：最年長。いつも冷静沉着で、トークのまどめ役。



大塚：海外派遣も経験している救助のエキスパート。



居波：数々の災害現場を経験した「現場の鬼」。



西田：自分に厳しく！人にやさしく！トークの進行役。



# コマンドアイ



様々な事案から災害活動を振り返る

## 東方面隊

### 平家建て倉庫出火、実は・・・

#### はじめに

今回紹介する火災事案は、繁華街の中心部、特定密集地域で早朝に発生した炎上火災事案である。発災建物は四方全面がトタンで覆われており、外観からは燃焼している建物の構造やその建物用途が判断できない状況であった。また、トタンで覆われた四方には開口部もなく、正確な燃焼状況や延焼状況を確認するにも困難を要した火災事案を紹介する。

トタンの内部で猛烈な勢いで燃焼していた建物は2階建ての古い木造家屋（飲食店として使用）であったため、延焼の速度は小屋裏を延焼経路として瞬間に拡大していく中、消防隊の懸命な破壊活動に加え筒先転進

#### 災害概況

覚知日時： 令和3年7月某日  
5時14分（鎮圧：6時32分）  
建物構造： 木造瓦葺トタン張2階建空家  
（建320㎡延640㎡）1棟12区画  
焼損程度： 上記建物において540㎡焼損及び  
天井側壁18㎡焼損

を繰り返し展開した火災現場である。

なお、建物四方に施工されたトタンは休止休業中に伴い、防犯上や老朽化による倒壊防止のために施工されたものであった。

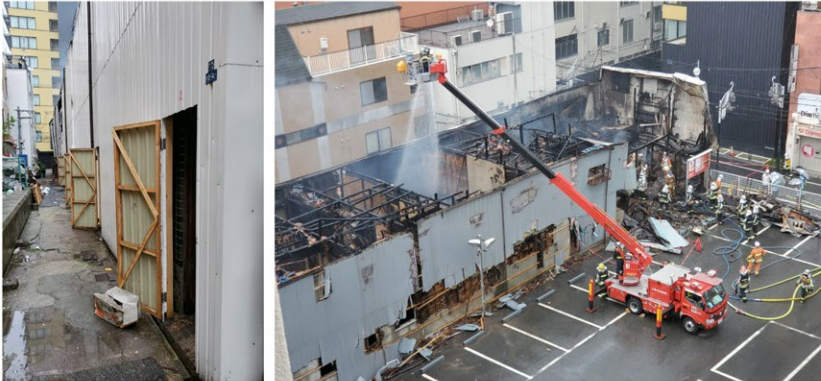
#### 消防隊の活動状況

暑さも本格的となってきた7月の早朝に「R地域、平家建て倉庫出火、高所カメラ情報煙気あり」と緊迫感が漂う指令内容に加え、出場中の消防隊からは「走行中煙気あり」との無線即報により、出場隊の緊張感もピークに達していた。

消防隊到着時、トタンで覆われた燃焼建物からは屋根部分が一部抜け落ち、火炎が上空に向けて噴出している状況であった。指令時には平家建て建物との情報であったが、その建物用途は四方全面がトタンに覆われ、判断できない状況であった。

当初はその外観から倉庫ではないかと思われたが、消防隊の迅速な情報収集により、トタン内部の燃焼建物は、構造が2階建ての木造長屋家屋であり、飲食店として使用されていることが判明すると同時に、小屋裏を経路として延焼が拡大している状況が明らかとなった。さらに、建物内部はそれぞれ独立した12もの区画に仕切られており、建

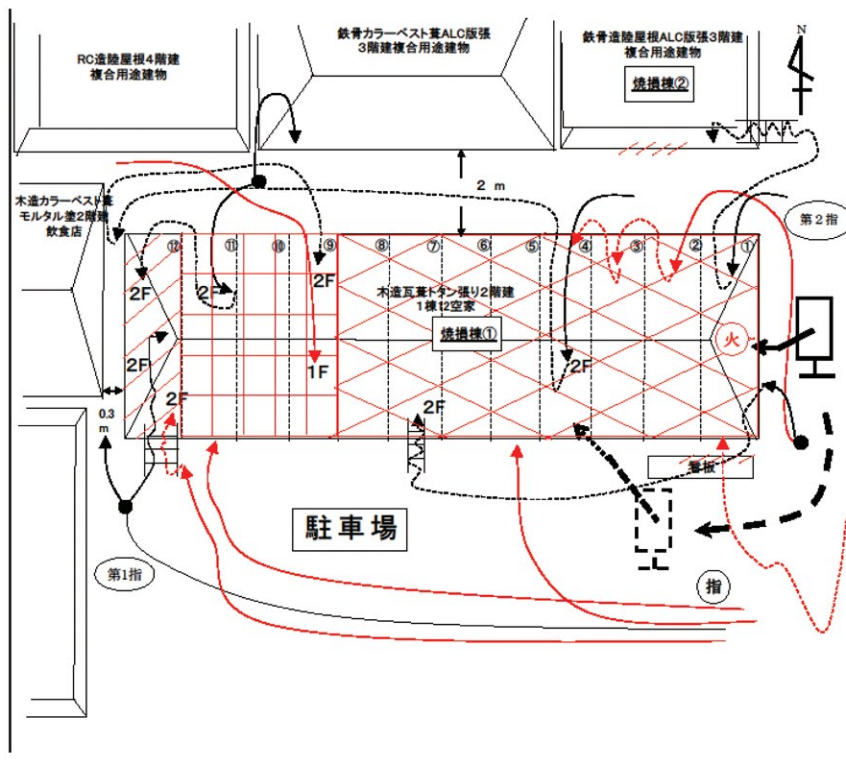
物内部に進入する手段はその12区画の1階にそれぞれ設けられた入り口からのみであり、他に開口部なども設けられていなかったため、消防隊の活動を困難なものにしていた。





通常、木造長屋建物での炎上  
火災時、外観から筒先部署位置  
を判断する場合の基準として  
「噴出する煙の色」「火災の噴出  
状況」「軒裏からの煙の状況」  
などを総合的に判断し、延焼阻  
止を主眼として筒先部署位置を  
判断するが、今回の火災は外観

からその判断が困難であったた  
め、出場消防隊の小隊長は非常  
に難しい判断を迫られた。  
このような非常に困難な状況  
の中、指揮本部長はトタンの破  
壊活動と並行した消火活動を展  
開すべく、早期に救助隊を増強  
要請するなど対策を講じ、その



効果的な破壊活動に追従するよ  
うに消火隊は筒先転進を繰り返  
し、有効な放水活動を継続した。  
また、早朝の火災とはいえど  
消火隊の疲労度も考慮し、指揮  
本部長は早期に交代要員として  
の増強要請も実施しており、破  
壊活動と並行した絶え間ない消  
火活動を展開した。

消防隊の懸命な防ぎよ活動に  
より、北側建物外壁の若干の延  
焼のみで抑えることができ、知  
から1時間18分で鎮圧に至った  
ものである。

**まとめ**

火災指令を受け出場する消防  
職員は経験値によりイメージの  
違いはあれど、指令内容、先着  
隊からの無線即報、災害点の地  
域状況など、様々な情報から災  
害を具体化したイメージを持ち  
つつ出場しているはずである。  
中には、その具体化したイメー  
ジを基に到着時の活動までを思  
い描き出場している職員も数多  
くいるはずである。さらに、日  
頃の訓練からそのイメージを小

隊長、隊員が共有出来ているので  
あればより迅速で効果的な活動が出  
来るであろう。

しかし、今回紹介した火災事例は、  
そのイメージした災害状況と現場到  
着して災害状況を目の当たりにした  
時の違いが顕著であった事案であら  
う。建物の四方全面をトタンで施工  
されているといった建物での炎上火  
災とは誰もが想定していなかったで  
あろうが、このような建物への有効  
な消火活動が難しいとされている  
ケースにもかかわらず、情報収集で  
得た情報を基に指揮本部的確な指  
揮の下、破壊活動と並行した筒先転  
進を繰り返し地道な消火活動を展開  
したという事例である。

大阪市内には至る所に、外観から  
は思いもよらぬ建物構造や内部構造  
となっている建物は数多く存在す  
る。我々消防職員はそのような建物  
で発生した火災事案にも悠然と対処  
する必要がある、今回紹介した事例  
のように、有効な消火活動が難しい  
ケースにも臆せず「延焼阻止を主眼  
とした筒先配備」「破壊活動と並行  
した消火活動」を展開し、被害の軽  
減を図る活動が求められているので  
ある。



# 調査鑑識

Survey & Investigation

一次世代に語り継ぎたい火災調査



第五走者

人事課 厚生担当  
高井 伸一 係長



## ▷ 次世代に残したい事例 “火災調査から見た安全管理”

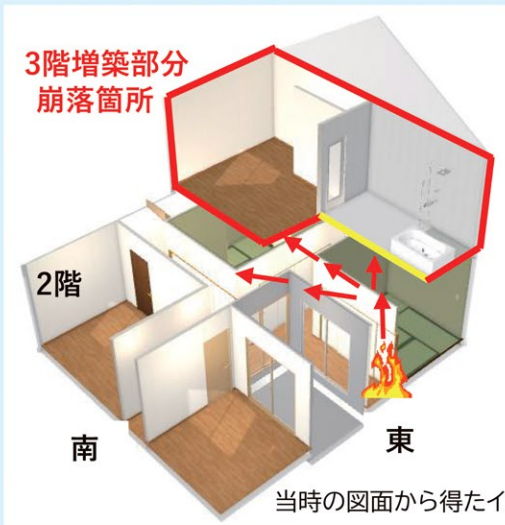
「次世代に語り継ぎたい火災調査」第五走者は、現在、人事課厚生担当の高井係長です。

原因究明のためには、実況見分における発掘作業は必要不可欠なものです、その作業は危険と隣り合わせにあることを忘れてはいけません。実況見分までの時間経過の中では主要構造部の強度が低下、落下物や水の重みによって刻々と建物の歪みが増していくため、「現場で活動していた場所」が翌日には「崩落危険場所」になっていることが多々あります。今回は、火災調査から見た安全管理の重要性について、お話を聞いてみたいと思います。

## ▷ 実況見分中に「バキッ」という音…とっさに出た「逃げろ!」という一声

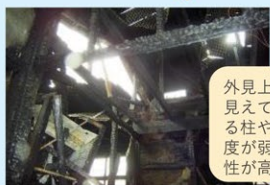
### 【火災概要】

平成20年5月の早朝、木造トタン葺モルタル塗3階建住宅兼事務所において、1,2,3階210㎡焼損。出火箇所と思われる2階東面は、落下した3階陸屋根の下敷きになっている状態であった。2階床面を見分するにはこれらを除去する必要があり、また残存している3階部分にはさらなる倒壊危険があることから、慎重に作業を実施する。発掘作業開始から1時間ほど経過した時に、倒壊危険があった3階が崩落。この崩落による負傷者の発生はなし。





**木造建築は危険がいっぱい**



外見上は頑丈そうに見える柱や梁が焼けて強度が弱っている可能性が高い

⚠️ 焼けた躯体は信用しない



部分的にモルタルやコンクリートで増築されているものが多く、2階の奥に設置されていて正面からは分かりにくいケースが多い

⚠️ 増改築されている建物は特に危険



バラベットをはじめ外壁の崩落も注意

⚠️ 壁内に炎が入れば 建物全体が歪みやすい



積み木崩しのように奇跡的に支え合っている状態⇒崩れる時は予想以上に崩れる

⚠️ 消火水や内在品等の重さは計り知れない

**対策を講じて実況見分へ**

- ・危機意識を高める
- ・退路の確保
- ・警察との危険箇所の共有
- ・危険箇所は先に潰しておくことを考慮

▷ **高井係長に聞いてみました** “danger” という感覚、それでええんじゃー！



(秋) 実況見分が始まる前に崩落危険の話はありましたか？

(高) 出火箇所は2階北東の居室っていう見立てがあって、警察との情報すり合わせの段階でそこら辺の梁が危ないっていう話は出てたよ。それで消防も警察も人数制限してたんやけど、時間が経つにつれて中で活動する人数も多くなってる気はしてたわ。ありがちな話やけど、みんなの危機感が薄れていったんやと思う。

(秋) 高井係長が「逃げる!」と言ったとき、何か崩落の兆候みたいものがあつたのですか？

(高) 1階に資器材を取りに行つて、ちょうど2階の階段を上がりきつたぐらいのとこやったんやけど、そのとき「バキッ」って音がしたんよな。すぐ「あの梁が折れた」と感じたわ。まだ2階には15人ぐらいおつたから、皆にすぐ知らせなと思って叫んだよ。

(秋) 30秒も経たないうちに崩落したということですが、全員すぐに避難できたのですか？

(高) そうやな。皆がすぐ動けたのは、各々が頭の隅に危機感を持ってたんやと思うわ。自分自身、もし何かあればこの窓から逃げようとか考えながら発掘してたんやけど、今思えば「逃げ場所を探しながらやる実況見分」は初めからしたらあかんかったんよな。

(秋) 崩落した場所は思ったより大きいですね。

(高) そうやな。想像以上に崩れてびっくりしたわ。この事案を機に実況見分時の安全管理を徹底してもらおう巡回研修で周知したり、危険箇所は先に落とすという選択や、レスキューサポートの活用、解体時に重機を入れて後日実況見分を実施するという選択も増えていったよ。やはり、原因調査をする際は、先ずその建物構造とか倒壊などの危険な箇所がないかを調べることから始めるべきで、これを養っていけば現場活動の安全管理でも絶対に活かせるよ！



▲重機による崩落危険除去



レスキューサポートの活用▶

**勉強になります！**

後輩たちに一言お願いします

原因調査も必要ですが、火災調査は安全確保がなされた前提のもと実施しなければいけません。焼けの強弱を見極める目を安全管理に向ければ、現場活動にも絶対活かせると思います。







## 今月はこんな授業を行いました



## 指揮活動を取り入れた訓練

今月は火災防御訓練の直近隊、中継隊の連携訓練に指揮本部、前進指揮所を追加した訓練を実施しました。

指揮本部運営を体験することで、リアルタイムの燃焼状況及び要救助者数や消火活動、救出状況についての情報整理を行なって統制を図り小隊間の連携を密接にすることを目的としたものです。今回は木造2階建共同住宅の2階1室から出火し室内に複数名の要救助者があるとの想定訓練です。直近隊が玄関側にホース延長し、室内の消火及び検索を実施し、中継隊が中継送水を実施後、ベランダに避難している家人から世帯状況及び出火時の滞在人員を聴取します。学生は正確に情報収集することに苦戦しながらも指揮本部へ報告していました。

前進指揮所の学生は、指揮本部からの伝達事項を直近隊に周知させるとともに、玄関から救出した要救助者を指揮本部に滞滞なく報告していました。

訓練を通して自隊の活動を指揮者に報告する意識付けが行われていたことと、玄関側とベランダ側といった対角線上で活動している隊が、今どんな活動をしているか、自分たちの活動により困難性が増していないかといった部分をうまく指揮本部へ報告して、「積極的な待機行動」が取られていたことが非常に印象的でした。







## 強風対応訓練

糸魚川の火災、台風21号(平成30年)等の過去の災害を通じて強風下における、放水ノズル・放水量・放水形状の違いによる消火効果の違いを認識するため、5m~25mの強風下で向かい風・横風・追い風を受けながら放水する訓練を実施しました。この訓練で活動姿勢及び自己確保の大切さを身をもって経験することができました。

また、風速35mの暴風下でグレーチング上を歩行することで、暴風下による歩行の危険性を身をもって体験することができた貴重な訓練となりました。



上から見た横風を受けながらの放水



風速35mの暴風下の歩行体験

訓練協力くださった、住之江特別救助隊の皆様ありがとうございました。





## 茨木市消防本部

### 倒木処理技術研修を実施

茨木市消防本部では、令和3年7月に倒木処理技術研修を実施しました。

本市北部は山林地域となっており、台風等による倒木で通行障害等が発生することがあることから、そうした場合に安全かつ迅速に対応するため、「茨木市里山を守る会」にご指導いただき、本市里山センターで倒木処理の専門技術に関する研修を受講しました。研修内容は、チェーンソーによる倒木の切断方法及び整備作業等についての展示を受けた後、チェーンソーを使用して倒木の切断等を行い、日常訓練では経験することが難しい実践的な訓練が実施できました。参加隊員からは「多くの倒木を実際に切断することで、自信がついた」という声が多く聞かれ、今後の災害対応に備え、効果的な研修が行えました。

今後も実践的な研修や教養を積極的に実施し、職員一人ひとりの知識及び技術の向上に努め、現場活動能力の向上を図ってまいります。



## 貝塚市消防本部

### コロナ感染防止対策下での水難救助訓練

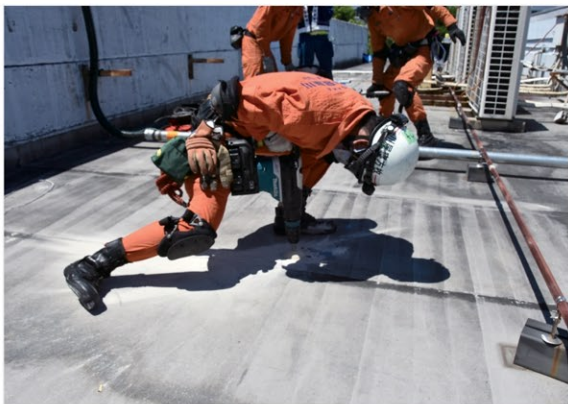
新型コロナウイルス感染症が感染拡大し、2020年4月に発出された緊急事態宣言を受け、本市消防本部でも感染防止対策のため一時各種訓練を含む行事がほぼ中止となりました。

極寒でも行っていた水難救助定期訓練ですが、当初は他の訓練と同様に中止としていたものの、隊員から訓練の継続を望む声が多く寄せられた事や、水難救助活動は水中という極めて危険で特殊な環境下での活動であり、その重要性を鑑みて体調管理やアルコール消毒など感染防止対策を徹底したうえで訓練を再開する事としました。

又、水面上では陸上のように隊員間の間隔を保持して会話をすることが難しいため、訓練中に発生した問題点等はソーシャルディスタンスが取れる陸上まで移動しミーティングを行う様にしています。

災害はいつどこで起こるかわかりません。新型コロナウイルス感染症蔓延という特殊な状況の中であっても、感染防止に努め、各種訓練を実施していく方針です。





## 枚方寝屋川消防組合消防本部

### 解体予定建物を活用した 救助訓練の実施について

本消防組合管内にある事業所にご協力いただき、令和3年8月3日～8月5日までの間、解体予定建物で救助訓練を実施しました。

今回の訓練は、同年7月3日に静岡県熱海市で発生した土石流による災害をうけ、台風シーズンや大地震に備えるとともに、緊急消防援助隊の派遣を想定したもので、酷暑の中、全力で訓練に取り組みました。

訓練想定では、倒壊建物から要救助者を救助する想定ですが、道路の寸断に伴い、災害現場直近までは車両での接近ができない想定で、災害現場より約1km離れた地点から資機材を選定し、災害現場まで搬送してから救出活動に入りました。

また、ブラインド形式で行うことで、地中音響探知機を用いた要救助者の検索や各種破壊器具の操作、救出方法の選定など、自分たちで考えながら行動し、普段の訓練では経験できない貴重な経験を積むことができました。

今後も、このような機会を積極的に活用し、隊員の経験値を高めていきます。



## 高槻市消防本部

### 防災拠点の機能強化！

高槻市消防本部では、老朽化した大冠分署、三箇牧及び五領出張所の非常用発電設備の改修工事を行いました。

この改修工事は、防災拠点の機能強化を図るため、新たに設備用の架台（高さ約3.2m）を設けるとともに、通常の電力引き込みルートを上階に変更することで浸水対策を行うほか、無給油で連続72時間以上運転可能な設備に更新しました。

近い将来、発生が予想される南海トラフ地震は、平成30年6月18日に発生した大阪府北部地震よりも大きな被害が想定されています。

大規模な災害にも対応できるように、更に強固な防災機能の維持が確保できるよう、今後も充実、強化を図ってまいります。

#### 非常用発電設備の概要

発電機出力：30kVA

定格出力：44.9kW

燃料タンク：950L

燃費：11.3L/h

連続運転：84h

※写真は三箇牧出張所設置設備



# 消 防

# ビフォ → アフタ



施設課  
防災基盤整備  
担当

# 出 張 所

大阪市消防局では、老朽化及び狭隘化が進んでいる消防庁舎の防災活動拠点としての機能強化を図る建替え事業を実施しています。

今回は、令和3年度竣工の天王寺消防署元町出張所をご紹介します。

## 建替えについて

消防署所は市域の消防力のバランスに配慮していることから現在地での建替え（現地建替え）を基本としており、築年数50年以上の庁舎を対象とし、老朽化、車両や資器材等の増加による狭隘化、増改築等を勘案し、消防局全体の経費の平準化も図りながら検討を行い、計画的に実施しています。

また、建替えに伴い、より迅速な災害出場に対応するよう消防車車庫の拡大、防災拠点として機能を確保する72時間連続運転可能な自家発電設備の設置や待機室の個室化、女性用待機室の整備等の機能強化を実施しています。

## 天王寺消防署元町出張所の建替え

元町出張所が存する四天王寺境内地は国の史跡地に指定された土地であり、新たな掘削工事を伴う建設は文化庁の許可が得られず、当初予定していた現地建替えが困難なことから近傍地での移転建替えの検討を行い、四天王寺東側にある「市営勝山住宅」の集約化事業により発生する用地が移転建替えの適地であると判断し、新庁舎を建設しました。

## 天王寺消防署元町出張所のあゆみ

- 昭和5年8月 四天王寺境内(四天王寺1丁目11番68号)に当時の大阪府警察部の施設として庁舎を竣工。 ※市内最古の消防庁舎
- 昭和23年3月 自治体消防発足に伴い「天王寺消防署元町出張所」として事務を開始する。
- 令和3年8月 旧庁舎の近傍地に新庁舎(大道2丁目9番17号)を竣工し、事務を開始する。

### 消防庁舎概要 (東方面隊を含む)

敷地面積	803.17㎡
建築面積	565.72㎡
延べ面積	1192.02㎡
階 数	地上3階建
構 造	鉄筋コンクリート造



外観デザインは趣ある旧庁舎をイメージし、壁面のポーターは四天王寺の築地塀（つじべい）に施された定規筋を彷彿させます。



(参考：四天王寺の築地塀)



# 職員の殉職について

故 消防監 山陰昇氏

昭和59年4月1日採用



大阪市鶴見消防署勤務、消防監 山陰昇氏（55歳）におかれましては、新型コロナウイルス感染症患者数が大阪府内で急増する状況下において、一身の危険を顧みず親身な活動を遂行した結果、自らもこれに感染し、薬石効なく6月2日（水）殉職を遂げられました。

市民の盾として、災害から市民の生命、身体、財産を保護するという氏の崇高な精神に敬意を表し、ご生前の大なる功績に感謝いたしますとともに、心からご冥福をお祈りいたします。

## ストップ！コロナ差別

新型コロナウイルス感染症に感染された方や医療従事者、その家族に対する誹謗中傷やインターネット上への心ない書き込みがなされるなど、人権を侵害する事象が見受けられます。

新型コロナウイルスは、誰もが感染するリスクが、誰でも感染させるリスクがあります。どのような理由があろうと、差別やいじめは絶対に許されません！

大変な時であるからこそ、確かな情報を知り、

お互いを思いやり、尊重し、支えあってこの危機を乗り越えましょう

大阪市はシトラスリボンプロジェクトに賛同します



Citrus  
Ribbon  
PROJECT

シトラスリボンが広がることで、みんなが声を掛け合って繋がりを大事にするきっかけになってもらいたいと願っています。

シトラスリボンプロジェクトとは・・・

コロナ禍で生まれた差別、偏見に関して、愛媛の有志の方がつくった「ただいま」「おかえり」の気持ちを表す活動を広めるプロジェクトです。



## そもそも救急病院って？

救急隊が傷病者を搬送し、救急安心センターが利用者の方にご案内する「救急病院」ですが、そもそもどのような基準で決められているのでしょうか。P17の「救急病院・救急外来について」では救急病院についてのQ&Aを特集していますが、救急病院を定める基準についてもあわせて確認しておきましょう。

『消防法』第2条第9項で、救急業務とは傷病者を厚生労働省令で定める医療機関その他の場所に搬送することと規定



『救急病院等を定める省令』で、次の基準に該当する病院又は診療所でその開設者から都道府県知事に対し救急業務に関し協力する旨の申出のあったものうち都道府県知事が必要と認定したものを救急病院又は救急診療所と規定

- 一 救急医療について相当の知識及び経験を有する医師が常時診療に従事していること。
- 二 エックス線装置、心電計、輸血及び輸液のための設備その他救急医療を行うために必要な施設及び設備を有すること。
- 三 救急隊による傷病者の搬送に容易な場所に所在し、かつ、傷病者の搬入に適した構造設備を有すること。
- 四 救急医療を要する傷病者のための専用病床又は当該傷病者のために優先的に使用される病床を有すること。



『大阪府救急告示医療機関認定マニュアル』で大阪府が認定する際の基準を規定

## アニマル環状線

～我が家の癒しをおすそ分け～

《名付け親は子供たち》

アニマル環状線ご愛読者の方々にお詫び申し上げます…。これまでの私は、アニマル環状線を1度も読んだことがなかったことをお許しください。

「パパ、このワンちゃん飼いたい!!」ペットショップを目にするたびに口にする子供たちに、「毎朝ママに起こされなくても自分たちで起きて、ママに言われなくても宿題とお片づけができるようになったらな」といつものように返す私。しかし、いつもと違うことがこの日は1つ…。妻がそのワンちゃんの前から離れません。「まさかとは思うけど、飼おうと思ってないよな!？」と聞く私に、「だってめっちゃ可愛いで」とこれまでになかった妻の返答。

ということで、他の犬を見ることもなく、私以外の4人のいわゆる一目惚れで、6人目の家族を迎え入れることとなりました。

犬種はパピヨン。茶色でハートの毛並みがチャームポイント。名前は「空(くう)君」。耳の毛が蝶のようにきれいに広がるといふ特徴を子供たちが調べ、「蝶のようにきれいに空を舞うように」ということで子供たちが名付けました。

私も動物について色々調べるようになった今、毎月のアニマル環状線が楽しみとなりました。

アニマル環状線ご愛読者の方々にお詫び申し上げます…。これからは私が、1番のアニマル環状線愛読者となることをお許しください☆



警防課 原田 祥吾





# 昇任試験問題研究所

Vol.20



ここは、大阪市内某所にある研究施設。日々、大阪市消防局の昇任試験問題の研究が行われている。主席研究員“九条みなみ”は、今日も後輩研究員たちの指導に余念がないのだった…。

## 第20話 ～危険物・高圧ガス～

みなみ：今日は、総務・予防・警防の3科目の中から、予防の「危険物・高圧ガス」について研究していきましょう。それじゃあ、始めるわよ!!

### 第1問

危険物の規制に関する政令別表第3「危険物の指定数量」について、次の(①)～(⑩)にあてはまる適切な語句又は数値を解答欄に記入してください。(10点)

種別	品名	性質	指定数量(リットル)
第4類	(①)		50
	第1石油類	(⑤)	(⑥)
		水溶性液体	400
	(②)		(⑦)
	(③)	(⑤)	(⑧)
		水溶性液体	2,000
	第3石油類	(⑤)	(⑨)
		水溶性液体	4,000
	第4石油類		(⑩)
	(④)		10,000

③	第2石油類	⑥	200
②	アルコール類	⑤	非水溶性液体
①	特殊引火物	④	動植物油類
⑩	6,000	⑧	1,000
⑨	2,000	⑦	400

【解答欄】(各1点)

みなみ：危険物の知識は災害現場で役立つわ!せっかくだから危険物取扱者試験も受けてみたら?

### 第2問

高圧ガス保安法第14条に規定する「製造のための施設等の変更」に関する記述について、次の(①)～(⑤)にあてはまる適切な語句を解答欄に記入してください。(10点)

第14条 第1種製造者は、製造のための施設の(①)、(②)若しくは設備の変更の工事をし、又は製造をする高圧ガスの(③)若しくは(④)を変更しようとするときは、都道府県知事の(⑤)を受けなければならない。

②	構造	④	製造の方法
①	位置	③	種類
⑤	許可		

(解答欄)(各2点)①②③④順不同



昇任試験まであとちょっと!だんだん寒くなってきたから身体をこわさないようにね♥  
勉強も大事だけど睡眠もとっても大切よ♥



# 自衛消防隊 紹介

自衛消防隊長  
元木 浩二

弊社では、常に「お客様第一主義」で、パッケージングを通じて社会の発展に貢献してまいりました。これからも地域住民の方々と連携し地域防災力の向上にも貢献できるよう取り組んでまいります。



株式会社メイワパックスは1962年に明和化成工業所として創業、1966年には明和化成印刷株式会社を設立、そして1988年に現在の社名に変更された大阪府柏原市に本社を置く、包装分野の中でもプラスチックフィルムを素材とする軟包装のプロフェッショナルな企業です。

国内8つの自社工場で質の高い製品を一貫生産され、食品、医薬品、化粧品、電子材料、工業材料など、その用途は多岐にわたり、これまで10万種の製品を手掛けておられます。



に努められており、優良自衛消防隊として幾度となく表彰されるなど、まさに自衛消防隊の模範となる組織です。

そして今年度からは生野自衛消防協議会会長の役を担っていただき、当署にとっても大変心強い存在です。

## 女性防火クラブだより

東住吉区

東住吉区女性防火クラブは、「自分の家は自分で守る。」「自分たちの地域は、自分たちで守る。」を合言葉に平成4年に結成されました。

女性防火クラブ員のメンバーは、自宅の火の用心はもちろんのこと、ご近所の方々と一緒に、家庭からの出火や放火をなくすための活動や、お年寄の方々への支援を行います、それぞれの地域の安全に貢献するために、活発な活動を展開しています。

現在、女性防火クラブは委員長以下14連合町会の支部長で組織され、1963名のクラブ員で構成されています。

今年度は新型コロナウイ

ルス蔓延に伴い様々な活動が制限や延期される中で、9月の高齢者防火推進週間には消防署と連携を図り、防火・防災安全チラシを2種類作成、避難所で配布される非常食と共に70歳以上の高齢者14,670名に配布し火災予防普及啓発を実施しました。

これからもクラブ員一丸となって「防火・防災の輪」を広げ、消防協働パートナーとして火災予防普及啓発を進めていきます。





# 表彰

令和3年9月9日付け

## 地域貢献活動

### 西成消防署

令和3年6月25日、西成区で発生した家屋倒壊事案において、社会的な注目が集まるなか、区役所及び警察署等関係機関並びに地域組織との連携を図り、災害関係情報収集、提供及び各種の調整を実施し、地域住民の不安を払拭しつつ、地域住民の意向、ニーズを正しく理解し、19日間の長期間にわたる活動を効率的かつ効果的に実現し、地域の安全確保に寄与した功績による。

会的な注目が集まるなか、区役所及び警察署等関係機関並びに地域組織との連携を図り、災害関係情報収集、提供及び各種の調整を実施し、地域住民の不安を払拭しつつ、地域住民の意向、ニーズを正しく理解し、19日間の長期間にわたる活動を効率的かつ効果的に実現し、地域の安全確保に寄与した功績による。

### 救急活動(賞与)

城東消防署 1部城東第一救急隊

- |       |       |
|-------|-------|
| 消防司令補 | 岡村 友広 |
| 消防士長  | 橋本 綱  |
| 消防士   | 岩堀 愛満 |

### 救急活動(賞与)

阿倍野消防署 2部阪南救急隊

- |       |       |
|-------|-------|
| 消防司令補 | 北川 壮一 |
| 消防士長  | 大西 秀彰 |
| 消防士   | 永嶋 風也 |

### 救急活動(賞与)

北消防署 2部北救急隊

- |       |       |
|-------|-------|
| 消防司令  | 菅原 次郎 |
| 消防司令補 | 城川 崇  |
| 消防士長  | 山下 司  |

## 地域貢献活動

### 阿倍野消防署

令和3年6月25日、西成区で発生した家屋倒壊事案において、社

令和3年3月31日、都島区の路上で発生した救急事案において、現場到着後、路上で倒れた高齢男性に対してバイスタンダーにより

令和3年5月2日、阿倍野区の一軒家で発生した救急事案において、自宅内で心肺停止となった30代男性に対して救急隊が接触後、

令和3年5月27日、北区のJR大阪駅構内で発生した救急事案において、心肺停止となった30代女性に対して先着した北小型タンク小隊が接触し、観察実施後、直ちにCPRを開始、心拍再開まで絶え間なく質の高いCPRを実施するとともに、時機を逸することなく電気的除細動実施、後着した北

傷病者の妻が実施していたCPRを引き継ぎ、心拍再開まで絶え間なく質の高いCPRを実施するとともに、時機を逸することなく早期に電気的除細動、LTSによる気道確保、輸液路確保及び薬剤投与等、迅速な救命処置を実施し、現場にて早期に心機能を回復させ、病院到着までには呼吸機能も完全に回復させた功績による。



救急隊及び浮田救急隊のLTSによる気道確保、輸液路確保及び薬剤投与等、迅速な救命処置及び搬送を適切に実施したものの。特定行為の実施に際しては、日頃の訓練通り正確な手技と補助、3隊の連携が効果的に発揮されたことにより、搬送中に早期に心機能を回復し救命に貢献した功績による。

### 救急活動(賞与)

北消防署 2部北小型タンク小隊

消防司令補	原田 裕
消防士長	本山 雄三
消防士	大塚 尽斗
消防士	月足 雄貴

令和3年5月27日、北区のJR大阪駅構内で発生した救急事案において、心肺停止となった30代女性に対して先着した北小型タンク小隊が接触し、観察実施後、直ちにCPRを開始、心拍再開まで絶え間なく質の高いCPRを実施するとともに、時機を逸することなく電気的除細動実施、後着した北

救急隊及び浮田救急隊のLTSによる気道確保、輸液路確保及び薬剤投与等、迅速な救命処置及び搬送を適切に実施したものの。特定行為の実施に際しては、日頃の訓練通り正確な手技と補助、3隊の連携が効果的に発揮されたことにより、搬送中に早期に心機能を回復し救命に貢献した功績による。

### 救急活動(賞与)

北消防署 2部浮田救急隊

消防司令補	有本 稔
消防士長	大東 佑介
消防士	中村 亮太

令和3年5月27日、北区のJR大阪駅構内で発生した救急事案において、心肺停止となった30代女性に対して先着した北小型タンク小隊が接触し、観察実施後、直ちにCPRを開始、心拍再開まで絶え間なく質の高いCPRを実施するとともに、時機を逸することなく電気的除細動実施、後着した北

よる気道確保、輸液路確保及び薬剤投与等、迅速な救命処置及び搬送を適切に実施したものの。特定行為の実施に際しては、日頃の訓練通り正確な手技と補助、3隊の連携が効果的に発揮されたことにより、搬送中に早期に心機能を回復し救命に貢献した功績による。

### 救急活動(賞与)

東淀川消防署

2部西淡路指定消火隊

消防司令補	鳥飼 孝二
消防士長	森 大輔
消防士長	島村 豪
消防士	西村 優太

令和3年5月31日、東淀川区の共同住宅の共用廊下で発生した救急事案において、別件の救助事案に対応していた西淡路指定消火隊が、共同住宅の近隣住民より「8階で胸の痛みを訴えている男性がいる」と聞き、発生階共用廊下で椅子に座っていた傷病者と接触し、観察を実施していたところ、心肺

停止となったため、時機を逸することなく胸骨圧迫、早期除細動を含む応急処置を適切に実施し、後着救急隊と連携した活動を実施したことで、搬送中に心機能を回復させ、救急車内収容時には自発呼吸も再開し、傷病者の救命に貢献した功績による。

### 火災防ぎよ活動(賞与)

西成消防署

1部海道指定消火隊

消防司令補	松本 弘和
消防司令補	嵯峨 慶彦
消防士長	溝口 大輔
消防士	小林 耕太

令和3年6月3日、西成区の2階建重層住宅で発生した火災現場において、延焼危険の高い特定密集地域で、海道指定消火隊は、事前任務を遵守するとともに早期に一線二口の筒先配備を行い、地域の特長及び燃焼状況を考慮した延焼拡大防止を実施するとともに、勇猛果敢に屋内進入して主火力を



制圧し、被害の拡大を最小限に阻止した功績による。

## 火災現場における

### 救助活動(賞与)

西成消防署 2部海道第二救急隊

消防司令補 安枝 文博  
消防士長 内海 健  
消防士長 山西 大樹

令和3年6月7日、西成区の2階建共同住宅で発生した火災現場において、急病事案として指令され出場したが、現場到着するも2階部分より白煙を確認したため、警防本部へ火災即報、隊員は住民へ避難喚起、また火災により避難できない要救助者を空気呼吸器が無いなか、中性帯のクリーンな部分を活用し、初期消火及び室内で倒れている要救助者をかかえ救出し、出場隊に対して情報共有を図り、人命救助だけでなく、被害の拡大を最小限に阻止した功績による。

## 火災以外の災害現場における救助活動(賞与)

都島消防署

1部東野田小型タンク小隊

消防司令 林 秀樹  
消防司令補 澤田 宜巳  
消防士長 齋藤 晶弘  
消防士 野村龍之介

令和3年7月21日、都島区の大川で発生した水難事故事案において東野田小型タンク小隊は大川艇庫まで迅速に出場し、艇庫に到着から10分後には、ゆめしま2号を出船させ、発生場所に向け航行中に河川中央付近で心肺停止の要救助者を発見し、適切な操船技術により早期に船上へ収容するとともに、的確な傷病者観察と応急処置により心機能を回復させ、都島指揮本部との連携を密にし、救助隊及び消防隊との連携により安全かつ迅速な救出活動に寄与した功績による。

## 火災以外の災害現場における救助活動(賞詞)

生野消防署

1部中川小型タンク小隊

消防司令 上奥 真吾  
消防士長 西林 幸哉  
消防士 徳富 隆裕  
消防士 山本 大貴

令和3年5月16日、生野区の平野川分水路で発生した水難事故事案において、男性1名が河川内に居るとの駆け付け通報により出場し、通報者から発見場所及び要救助者の状況を確認に聴取し、初動において自隊及び救急隊に対し、的確に任務分担を行い、通報者の駆け付けからわずか3分で要救助者を水難救助操法第1法により一挙確保した。また、各出場隊に対し、災害状況、救出経路等の必要な情報を無線で伝達し、その後の迅速な救出活動につなげた。先着の小隊長として、自隊の活動のみならず、救急車内収容まで視野に入れた的確な指示により、要救助

者の状態を悪化させることなく迅速に救出した功績による。







#### はじめに

この度、危険物の規制に関する規則の一部を改正する省令(令和3年総務省令第71号)が公布され、令和3年7月21日から、給油取扱所(ガソリンスタンド)のうち、屋内給油取扱所における上屋(以下「キャンピー」という。)の面積等に関する基準が見直されました。(危険物の規制に関する規則第25条の6関係)

#### 給油取扱所の区分

給油取扱所にはいくつかの種類があり、その構造から、屋内給油取扱所と屋外給油取扱所に区分されます。

「屋内給油取扱所」は、「屋外給油取扱所」に比べ、可燃性蒸気の滞留、火災時の避難困難性等の危険性が高いことからより厳しく規制されています。

- 【具体的には】
- ・ 壁、柱、床、はり及び屋根を耐火構造とすること
  - ・ 給油取扱所以外の用途部分がある場合は、給油取扱所に設置された自動火災報知設備の感知器等と連動する地区音響装置等を備えること
  - ・ 1階の二方は原則、道路等に面して開放されていること 等

#### 改正内容について

**改正前**

①建築物の水平投影面積(給油取扱所の用に供する部分に限る)から、②区画面積(①のうち床又は壁で区画された部分の1階の床面積)を引いた面積が、③給油取扱所の敷地面積から②を引いた面積の、3分の1を超えるものが屋内給油取扱所として規制されていました。



**改正後**

①が②の3分の1を超えるものは、従前のとおり規制されますが、①が②の3分の2まで、かつ、火災の予防上安全であると認められる場合にあっては、屋外給油取扱所の基準によることとされました。

規則の改正により、火災の予防上安全と認められる場合は、給油取扱所におけるキャンピー等の面積が見直されることとなりました。

概要については、次の通りです。

#### 【給油取扱所におけるキャンピー等の面積に関する基準】



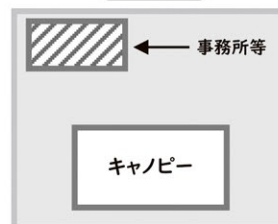
右の図の場合、

①が (キャンピーと事務所等)

②が (事務所等の1階床面積)

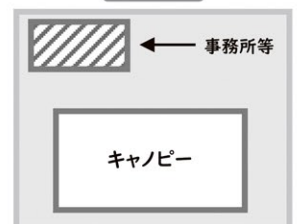
③が (敷地面積) となります。

改正前



3分の1までなら  
屋外給油取扱所

改正後



3分の2まで、かつ、火災予防上安全である場合なら屋外給油取扱所

$$\text{建築物の給油取扱所の用に供する部分の水平投影面積} - \text{区画面積} = \text{給油取扱所の敷地面積} - \text{区画面積}$$



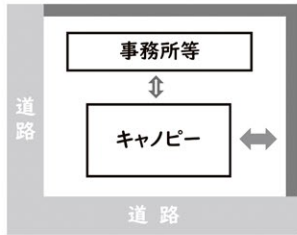
## 【火災の予防上安全であると認められる場合】

- ① 道路に1面以上面している給油取扱所で、そのキャノピーと事務所等の間に水平又は垂直距離で0.2m以上の隙間があり、かつ、キャノピーと給油取扱所の周囲に設ける塀又は壁の間に水平距離1m以上の隙間が確保されていること
- ② 敷地の形状が複雑ではないこと（可燃性蒸気が滞留するような奥まった部分を有しないもの）

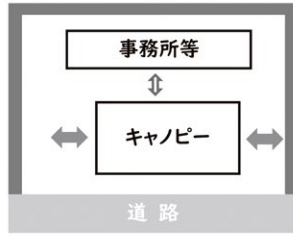
### 〈火災の予防上安全であると認められる例〉

凡例…  :塀又は壁もしくは天井  :0.2m以上の隙間  :1m以上の隙間

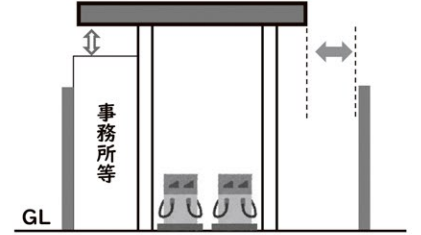
- ① 敷地の2面が道路に面しており、キャノピーが塀又は壁から1m以上離れている場合(平面)



- ② 敷地の1面が道路に面しており、キャノピーが塀又は壁から1m以上離れている場合(平面)

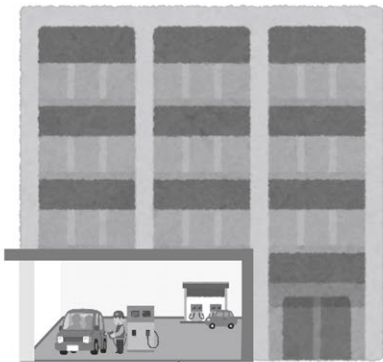


- ③ キャノピーが、事務所等から垂直距離で0.2m以上、壁又は塀から水平距離で1m以上離れている場合(立面)



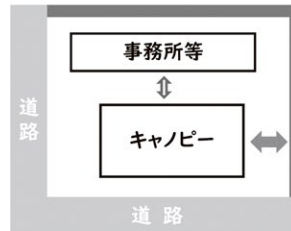
### 〈火災の予防上安全と認められない例〉

- ① 建築物内に給油取扱所を設置する場合(立面)



給油取扱所  
(ガソリンスタンド)

- ② 給油取扱所の用に供する部分の上部に上階を有する場合(平面)



①は、ビル等の1階部分に給油取扱所を設置する場合が該当します。

②は、給油取扱所内の事務所等が2階建て以上の場合が該当します。

## おわりに

現在、「屋内給油取扱所」として規制を受けている給油取扱所で、改正後の規定を適用し、今後、「屋外給油取扱所」として規制を受けようとする場合は、変更の内容に応じて変更許可の申請又は軽微な変更の届出が必要となります。

大阪市危険物規制審査基準第2章第1節第5「軽微な変更」により判断し、必要となる手続きをお願いします。

### 《キセイカの一言》

失敗とは、目標までの道のりで諦めてしまい、後悔することです。



最後の最後まで諦めずに挑戦し続けましょう！



「The Black History」は、これまでの消防人生における失敗や反省事例を、先輩職員が「しくじり先生」となり後輩に伝えるコーナーです。書店でも「失敗から学ぶ」といったビジネス本が数多く並んでいますよね。たしかに、失敗は成功よりも多くのことを学べる機会でもあるのです。先輩たちの失敗に感謝しつつ、しっかり学ばせていただきますよ！

さて、今回、赤裸々に失敗談を寄稿してくださったのは、規制課に勤務する江藤係長さんです。



## 私の黒歴史

# The Black History

今回の謝り人： 規制課担当係長(規制) 江藤 兆一

私は平成11年に採用され、現在は規制課という「固い」イメージの部署で担当係長をしております。司令補になるまでは現場の最前線となる出張所での勤務が長かったこともあり、現場での失敗は数知れません…。

その都度、周囲の先輩方に助けられ、なんとか今日まで消防人としてやってきた私ですが、偉そうに皆様にお伝えさせていただく事は、仕事の準備に対する心構えです。

士長の時、「斜めブリッジ救助訓練」で近畿地区指導会に出場する機会を得ることができました。

大会前日のミーティングで救助課の主任さんから心構えのレクチャーを受け、「明日は頑張ってくれ！！」と有難い激励を受けていたのですが、これまでも「その場しのぎ」で生きてきた私は「また当たり前を…、いちいち言わなくてええで」くらいに思っていました。

それまでも訓練で編み上げ靴を忘れて、ひどいときはヘルメットを忘れて、後頭部に「学校」のシールが貼ってあるヘルメットで訓練をするなど、散々恥ずかしい思いをしていたにも関わらず、先輩の有難い言葉を全く受け止めていませんでした。

そして大会当日の朝、当時の消防学校に集合して着替えている時、ある事に気が付きました。

「やばい、ベルト忘れた…」

この時頭の中をよぎったのは、前日のミーティングでの救助課の主任さんのレクチャーです。

「準備を怠るなよ。しっかり準備しといたら気持ちに余裕ができる。荷物は寝る前にチェックしとけ」

このように言ってもらったにも関わらず、人の話を聞かない私は当日の朝にパタパタ準備をしていたのです。

「あかん、怒られる」と思いながら恐る恐る救助課の主任さんにベルトを忘れた事を言いに行くと、反応は意外にも…「じゃあこれを使え。今日は頑張ってくれよ！！」といってベルトを私に渡してくれたのです。

このような先輩の気遣いにも、当時の私は「ラッキー。助かった」くらいに思っていました。

そしてバスに乗り込み、会場の三木市でウォーミングアップを済ませ、本番に備えてゼッケンをつけようとしたその時、ゼッケンの番号が登録番号と違うことに気が付きました。なんと間違えて練習用のゼッケンを持って来てしまっていたのです。

朝のベルトの件では優しい声を掛けてもらっていたので、またなんとかしてくれると安易に考えた私は、とりあえず救助課の主任さんのところに相談に行きました。

「すみません、ゼッケン忘れてしまいました…」

すると…

「あほか！！どうすんねんお前！！」

「ゼッケンは替えが無いから絶対忘れるなって、ミーティングでも言うたやろ！！」

「裏返してマジックで大阪って書いて出る！！」

ついにメチャクチャ怒られました。

堺や枚方寝屋川など、周りのテントの隊員が全員こちらに注目するくらいの声で…。

このように全く準備ができていない私のせいで、チームも全国大会に行くことは出来ず、いろんな方に不快な思いと迷惑をかけてしまいました。

あの日以降、それまで「その場しのぎ」で生きてきた私もさすがに反省し、些細な事でも準備を怠らないよう心掛けています。

**迷惑をかけた皆さま、大変申し訳ございませんでした！  
何事も準備が大切です！！特に仕事は段取りが8割！！  
そして何より、先輩の言う事は素直に聞きましょう！！**





## ◆◆◆ 眼の健康診断 ◆◆◆



近年、職場やプライベートにおいてパソコンやスマートフォンなどの情報機器を使用することが多く、仕事でのパソコン利用は当たり前になり、一日中画面を見る生活となっています。それに伴う目の疲れや、身体的、精神的疲労を訴える人も増える傾向にあり、厚生労働省は情報機器作業者の健康障害の防止を図るため、「情報機器作業における労働衛生管理のためのガイドライン」を作り、事業者に対し健康管理を行うよう勧めています。

## ◆◆◆ 眼の検査項目 ◆◆◆

## 《遠方視力・近方視力》

- ・左右の視力を検査します。(裸眼・矯正)
- ・裸眼で左右とも「0.7」以上あれば正常です。「0.6」以下だと近視や乱視などの疑いがあります。
- ・矯正で「0.6」以下だと、メガネやコンタクトレンズが適切でない可能性があります。

## 《情報機器作業健診》

- ・パソコンなどの情報機器を使う作業を情報機器作業と呼びます。
- ・画面を凝視し、同じ姿勢を続ける特徴があるため、眼や骨格の疲労を問診や診察で確認します。

## 《眼位検査》 40歳以上が対象

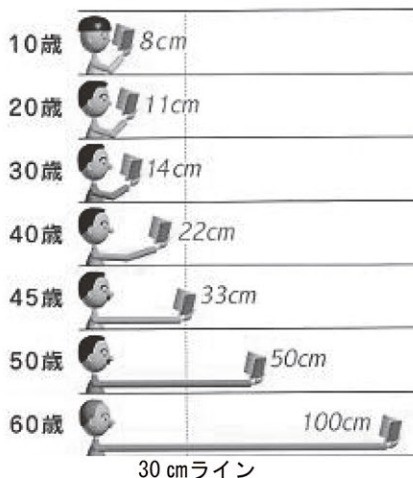
- ・両目の位置関係を見る検査です。(斜視や斜位がないかを判定します)
- ・眼位に異常がある場合、近業時に眼精疲労を生じやすくなります。

## 《調節機能検査》 40歳以上が対象

- ・ピントの調節機能を測定します。
- ・調節機能は加齢により低下しますが、著しい低下は眼精疲労の原因となります。

## ＜調節力の目安＞

年齢と共に遠くなる距離(近点)



※30 cmをこえたら老眼を意識してください

自分では視力がどのくらい落ちているのかわかりません。定期的な検診で視力を測り、最適な眼鏡やコンタクトレンズを使用し、パソコン作業の合間に『休憩をはさむ』『姿勢に注意する』など早めの対策を心がけましょう。





防災体験イベント「進めましょう!災害に強いまちづくり」  
 と き：14日(日)10時00分から15時00分  
 と ころ：イオンモール鶴見緑地(鶴見区鶴見4-17-1)

## 救命講習



11日(木) 18時から21時	福島消防署 救命講習Ⅰ
13日(土) 9時30分から12時30分	都島消防署 救命講習Ⅰ
13日(土) 13時30分から16時30分	阿倍野消防署 救命講習Ⅰ
14日(日) 9時から12時	振興協会 救命講習Ⅰ
14日(日) 9時30分から12時30分	阿倍野防災センター 救命講習Ⅰ
14日(日) 13時30分から16時30分	阿倍野防災センター 救命講習Ⅰ
14日(日) 13時30分から16時30分	振興協会 救命講習Ⅲ
19日(金) 18時から21時	振興協会 救命講習Ⅲ
20日(土) 9時30分から12時30分	城東消防署 救命講習Ⅰ
20日(土) 13時30分から16時30分	西成消防署 救命講習Ⅰ
21日(日) 9時30分から12時30分	住吉消防署 救命講習Ⅰ
23日(火) 9時30分から12時30分	浪速消防署 救命講習Ⅰ
23日(火) 13時30分から16時30分	淀川消防署 救命講習Ⅰ
23日(火) 13時30分から16時30分	振興協会 救命講習Ⅰ
25日(木) 18時から21時	此花消防署 救命講習Ⅰ
26日(金) 9時から12時	振興協会 救命講習Ⅰ
27日(土) 9時30分から12時30分	水上消防署 救命講習Ⅰ
27日(土) 13時30分から16時30分	浪速消防署 救命講習Ⅲ
28日(日) 9時から12時	振興協会 救命講習Ⅰ
28日(日) 13時30分から16時30分	鶴見消防署 救命講習Ⅲ



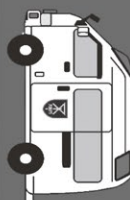
2日(木) 9時から12時	振興協会 救命講習Ⅰ
4日(土) 9時30分から12時30分	東住吉消防署 救命講習Ⅰ
5日(日) 13時30分から16時30分	福島消防署 救命講習Ⅲ
8日(水) 18時から21時	淀川消防署 救命講習Ⅰ
11日(土) 9時30分から12時30分	住吉消防署 救命講習Ⅲ
11日(土) 13時30分から16時30分	天王寺消防署 救命講習Ⅰ
12日(日) 9時30分から12時30分	阿倍野防災センター 救命講習Ⅲ
12日(日) 13時30分から16時30分	阿倍野防災センター 救命講習Ⅰ
12日(日) 13時30分から16時30分	大正消防署 救命講習Ⅰ
14日(火) 18時から21時	天王寺消防署 救命講習Ⅰ
18日(土) 9時30分から12時30分	西成消防署 救命講習Ⅰ
19日(日) 9時30分から12時30分	東淀川消防署 救命講習Ⅲ
19日(日) 9時から12時	振興協会 救命講習Ⅰ
19日(日) 13時30分から16時30分	振興協会 救命講習Ⅰ
21日(火) 18時から21時	振興協会 救命講習Ⅰ
25日(土) 9時30分から12時30分	城東消防署 救命講習Ⅲ
25日(土) 13時30分から16時30分	振興協会 救命講習Ⅰ
26日(日) 9時30分から12時30分	旭消防署 救命講習Ⅰ

- ・振興協会及び阿倍野防災センターで実施の講習は、大阪消防振興協会(06-6459-1466)まで、各消防署にて実施の講習は各消防署へお申し込みください。
- ・新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては、各講習の中止・追加等の可能性があります。
- ・最新情報は大阪市消防局のホームページをご覧ください。

## 大阪消防

令和3年11月号 第72巻第11号 通巻第860号

発行	大阪消防清風会	編集	大阪市消防局企画部企画課内大阪消防編集部
企画・監修	大阪市消防局		〒550-8566 大阪市西区九条南1-12-54
年間購読料	年間5,280円 (消費税・送本手数料含む)		TEL 06-4393-6036
			FAX 06-4393-5120
制作・販売	株式会社サイネックス		Eメール pa0110@city.osaka.lg.jp





# 10年交換

で

定期的に  
点検して

# や

# 火災警報器は



おいでやす小田

**住宅用火災警報器は  
定期的に点検し、10年を目安に交換してください**

大阪府下消防長会  吉本興業  
協賛：(一社)大阪市防火管理協会・(一財)大阪消防振興協会

住宅用火災警報器のお問い合わせは  
最寄りの消防本部・消防署まで



住宅用火災警報器  
ムービー公開中!








(令和三年度大阪消防庁様啓事 作者 北川 知生)

デザイン協力  
OCA大阪デザイン&ITテクノロジー専門学校  
井上 真翔さん

 大阪市消防局

 火の用心アプリ  
で検索!



# ご宴会から二次会まで おまかせ下さい!

## 大阪キタなら

歓送迎会、同窓会他  
各種ご宴会承ります!



★エレベーター新設! ★リニューアル改装!

ご晩酌・  
ご宴会処 **鳥よし茶屋**

電話 (06) 6365-0010

大阪市北区曾根崎 2-1-9  
梅新 お初天神(露天神社)  
正門出て左へ 30m

## 大阪ミナミなら

都心の  
ご宴会処 **鳥よし本店**

電話 (06) 6643-1230

大阪市中央区千日前 2-7-16  
千日前交番裏 30m

### 二次会 なら...

グランドラウンジ 大阪市中央区千日前 2-7-16  
**ミス大阪** 電話 (06) 6643-1210  
 ヤングラウンジ 大阪市中央区千日前 2-8-5  
**ザ・フレッシュ** 電話 (06) 6644-1313

ナイトラウンジ 大阪市中央区千日前 2-8-5  
**ミスパール** 電話 (06) 6643-1220  
 ミスパール 大阪市中央区千日前 2-8-5  
**昼ラウンジ** 電話 (06) 6643-1220



**鳥よしグループ** 本社 大阪興業株式会社  
鳥よし共栄株式会社

〒542-0074 大阪市中央区千日前 2-7-16  
電話 (06) 6643-2233・6644-1044